

## 商標

Autel®、MaxiSys®、MaxiDAS®、MaxiScan®、MaxiTPMS®、MaxiRecorder®およびMaxiCheck®は、Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.の商標であり、中国、米国およびその他の国で登録されています。他のすべてのマークは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

## 著作権情報

Autel の事前の書面による許可なしに、このマニュアルのいかなる部分も、電子的、機械的、写真複写、記録、またはその他の方法または手段によって、複製、検索システムに保存、または送信することはできません。

## 保証の免責および責任の制限

このマニュアルのすべての情報、仕様、図は、印刷時に入手可能な最新情報に基づいています。

Autel は、予告なしにいつでも変更を行う権利を留保します。このマニュアルの情報の正確性については慎重に確認されていますが、製品の仕様、機能、および図の完全性および正確性については保証されません。

Autel は、直接的、特別、偶発的、間接的損害、または経済的損害（利益の損失を含む）に対する責任を負いません。

---

## 要

このユニットを操作または保守する前に、このマニュアルを注意深く読み、安全上の警告と注意事項に特に注意してください。

---

## サービスとサポートについて



<http://pro.autel.com>  
[www.autel.com](http://www.autel.com)



1-855-288-3587/1-855-AUTELUS（北アメリカ）  
0086-755-22672493/86532091（中国）



[support@autel.com](mailto:support@autel.com)

詳細については、このマニュアルの**错误!未找到引用源**。セクションを参照してください。

## 安全情報

---

あなた自身の安全と他者の安全のため、また使用される装置と車両の損傷を防ぐために、このマニュアル全体で示されている安全上の注意事項を、操作または接触するすべての人が読んで理解することが重要です。

車両を整備するためのさまざまな手順、技術、ツール、および部品が必要であり、作業を行う人のスキルも必要です。この装置でテストできる製品には膨大な数のテストアプリケーションとバリエーションがあるため、あらゆる状況に対応するためのアドバイスや安全メッセージを予測または提供することはできません。テスト対象のシステムに精通することは、自動車技術者の責任です。適切な保守方法とテスト手順を使用することが重要です。あなたの安全、作業エリアの他の人の安全、使用中のデバイス、またはテスト中の車両を危険にさらさない適切で許容可能な方法でテストを実行することが不可欠です。

デバイスを使用する前に、テスト対象の車両または機器のメーカーが提供する安全メッセージと適用可能なテスト手順を常に参照して、それに従ってください。このマニュアルに記載されている方法でのみデバイスを使用してください。このマニュアルのすべての安全メッセージと指示を読み、理解し、従ってください。

## 安全メッセージ

---

人体への傷害および機器の損傷を防ぐために、安全メッセージが提供されています。すべての安全メッセージは、危険レベルを示す次の表示で区分し紹介されています。



回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う差し迫った状況を示します。

---



回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う可能性がある状況を示します。

---

## 安全指示

---

本書の安全メッセージは、Autel が認識している状況をカバーしています。Autel は、可能性のあるすべての危険を評価することができません。発生した状態やサービス手順が遵守されていることを確認する必要があります。

---

### 検

エンジンが稼働している間は、サービスエリアの通気を良好に保つか、エンジン排気システムに建物排気ガス除去システムを取り付けてください。エンジンは無臭の有毒ガスである一酸化炭素を生成し、吸引することで反応時間が遅くなり、重傷や人命の損失につながる可能性があります。

---

### 安全に関する警告

- 常に安全な環境で自動車試験を実施してください。
- ANSI 規格に適合する安全保護具を着用してください。
- 衣服、髪、手、道具、試験装置などを、すべての可動部品または高温のエンジン部品に近づけないでください。
- 排気ガスは有毒なので、換気の良い作業エリアで車両を操作してください。
- トランスミッションをパーキング（オートマチックトランスミッション）またはニュートラル（マニュアルトランスミッション）に入れ、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 駆動輪の前にブロックを置き、テスト中は車両から離れないでください。
- イグニッションコイル、配電キャップ、イグニッションワイヤやスパークプラグ周辺での作業には細心の注意を払う必要があります。これらの部品は、エンジンの稼働中に危険な電圧を生成します。
- ガソリン、化学薬品、および電気の火災に適した消火器を近くに置いてください。
- イグニッションがオンになっているとき、またはエンジンが稼働しているときは、テスト機器を接続したり切断したりしないでください。
- テスト機器を乾燥した清潔な状態に保ち、油、水、またはグリースを含まないようにします。必要に応じて、清潔な布に中性洗剤を使用して、機器の外側を清掃します。
- 車両を運転すると同時にテスト機器を操作しないでください。注意が逸れ、事故を引き起こす可能性があります。

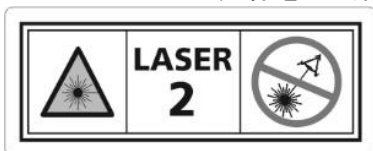
- サービス対象の車両のサービスマニュアルを参照し、すべての診断手順と注意事項に従ってください。従わない場合、人身傷害または試験装置の損傷につながる可能性があります。
- テスト機器の損傷や誤ったデータの生成を防ぐため、車両のバッテリーが完全に充電され、車両の DLC への接続が確実であることを確認してください。
- テスト機器を車両のディストリビューターに置かないでください。強い電磁干渉は機器を損傷する可能性があります。

## レーザー放射

---



レーザー光線を人（特に顔や目）に向けないでください。



レーザー機器という用語は、レーザー放射を生成、送信、または使用するデバイス、システム、またはテストのセットアップを指します。

レーザーデバイスのクラスは、アクセス可能なレーザー放射に関連する潜在的な危険のレベルを示します。クラス 2 レーザー機器の場合、アクセス可能なレーザー放射は可視スペクトル範囲（400 nm～700 nm）です。

まぶたは、このようなレーザー放射との偶発的な短時間の接触に対して十分な保護を果たします。そのため、ユーザーが意図的に長時間（> 0.25 秒）レーザーを見たり、レーザーを繰り返し見たり、直接反射したレーザー放射を見たりする必要がない場合、予防措置なしでクラス 2 レーザーデバイスを使用できます。

---

### 告

薬やアルコールを摂取すると、まぶたの反射反応が遅くなります。これは特定のリスクをもたらします。薬の影響下にある人は、保護レベル R1 のレーザー保護メガネを着用することをお勧めします。

---

レーザー機器やレーザー放射の危険性を考慮し作業する訓練を受けていない人は、レーザー光線やレーザー放射装置を使用して作業を行う職場に立ち入

ることはできません。

**安全対策：**

- オペレーターは、「レーザービームの警告」という警告を目の高さで、測定ステーションに見えるように配置します。
- レーザー光源を直接見ないでください。
- オペレーターは、レーザー放射の危険性を考慮する必要があります。

**保護ブーツを使用してください**

足に怪我をする恐れのある作業を行う場合は、保護靴を着用する必要があることに注意してください。足の怪我は、例えば、ツールまたはワークアイテムの転倒または落下、足の引っ掛かり、金属の削りくずの発生などによって引き起こされる可能性があります。

**安全対策：**

- オペレーターは、「安全靴を使用する」という必須の標識を目の高さで、測定ステーションにはっきりと見えるように配置します。
- オペレーターは常に推奨される保護靴を着用する必要があります。

## コンテンツ

安全情報	.....	错误!未定义书签。
安全メッセージ	.....	错误!未定义书签。
安全指示	.....	错误!未定义书签。
レーダー放射	.....	错误!未定义书签。
1 このマニュアルの使用	.....	错误!未定义书签。
規則	.....	错误!未定义书签。
2 概説	.....	错误!未定义书签。
キャリブレーションフレームキット	.....	错误!未定义书签。
ホイールクランプキット	.....	错误!未定义书签。
アクセサリキット I (日本および韓国車用)	.....	错误!未定义书签。
アクセサリキット II (ヨーロッパおよび米国の車両用)	.....	错误!未定义书签。
パターンボード	.....	错误!未定义书签。
ターゲットボード& パターンキット I (LDW システム用)	.....	错误!未定义书签。
パターンキット II (AVM システム用)	.....	错误!未定义书签。
技術仕様	.....	错误!未定义书签。
3 カメラとセンサーのキャリブレーション	.....	错误!未定义书签。
アダプティブクルーズコントロール (ACC) システム	.....	错误!未定义书签。
レーンチェンジアシスト (LCA) システム	.....	错误!未定义书签。
レーンキープアシスト (LKA) システム	.....	错误!未定义书签。
アラウンドビューモニタリング (AVM) システム	.....	错误!未定义书签。
ナイトビジョンシステム (NVS)	.....	错误!未定义书签。
4 メンテナンスとサービス	.....	错误!未定义书签。
メンテナンス説明	.....	错误!未定义书签。
サービス手順	.....	错误!未定义书签。
5 コンプライアンス情報	.....	错误!未定义书签。
6 保証	.....	错误!未定义书签。
1 年間の限定保証	.....	错误!未定义书签。

# 1 このマニュアルの使用

このマニュアルには、デバイスの使用方法が記載されています。

このマニュアルに示されている図には、システムに含まれていないモジュールやオプション機器が含まれている場合があります。

## 規則

---

次の規則が使用されます。

### 太字

太字のテキストは、ボタンやメニューオプションなどの選択可能な項目を強調するために使用されます。

例:

- OK をタップします。

### ご注意と重要なメッセージ

*ご注意*

**ご注意**は、追加の説明、ヒント、コメントなどの役立つ情報を提供します。

例:

---

#### **ご注意**

新しいバッテリーは、約 3~5 回の充電と放電のサイクル後にフル容量に達します。

---

*重要*

**重要**は、回避しないとタブレットまたは車両に損傷を与える可能性がある状況を示します。

例:

---

#### **重要**

ケーブルを熱、オイル、鋭利な縁、可動部品に近づけないでください。損傷したケーブルはすぐに交換してください。

---

## ハイパーリンク

他の関連記事、手順、および図へのハイパーリンクまたはリンクは、電子文書で利用できます。青色の斜体テキストは選択可能なハイパーリンクを示し、青色の下線付きテキストはウェブサイトリンクまたは電子メールアドレスリンクを示します。



このマニュアルで使用されている図はサンプルであり、実際のテスト画面はテスト対象の車両ごとに異なる場合があります。メニュータイトルと画面上の指示を確認して、正しいオプションを選択してください。



## 2 概説

Autel の MaxiSys ADAS は、高度な運転支援システムを迅速かつ簡単にキャリブレーションするように設計されています。車線逸脱警告、適応走行制御、後方衝突警告、およびその他のカメラおよびレーダーベースの安全システムは、あらゆるクラスの車両で一般的な機能になりつつあります。これらのシステムで使用されるレーダーとカメラは、カメラ/レーダーの交換やシャーシの調整など、多くの一般的な修理の他にキャリブレーションを行う際に最高の精度を必要とします。

Autel の MaxiSys ADAS は、車両固有の段階的な手順と詳細なイラストを表示し、技術者がこれらのますます普及している車両システムで効率的かつ正確なキャリブレーションを実行できるようにします。

Autel の MaxiSys ADAS は、VW、メルセデスベンツ、BMW、レクサス、日産、インフィニティ、ホンダ、トヨタ、ヒュンダイ、起亜、フォード、ボルボという 11 メーカーをカバーしています。より多くの車両が将来のアップデートに含まれます。

# キャリブレーションフレームキット

## キャリブレーションフレーム

MaxiSys ADAS は、1つのキャリブレーションフレームを使用して、アダプティブクルーズコントロール、車線逸脱警告、死角検知機能、ナイトビジョンシステムなど先進運転支援システムで使用されるレーダーとカメラのキャリブレーションを行います。さまざまなキャリブレーションツールをクロスバーのスライドボードに簡単に取り付けることができます。

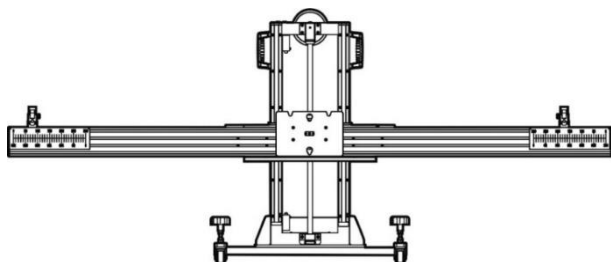


図2 キャリブレーションフレーム CSC0600

### ⑦ ご注意

クロスバーの両側の定規ボックスは、測定の必要に応じて左右に移動できます。ルーラーボックスのノブを回して、緩めることで動かすことができます。

## リフレクター

リフレクターCSC0602 / 01は、キャリブレーションフレームの位置決めとレーダーのキャリブレーションに必要です。

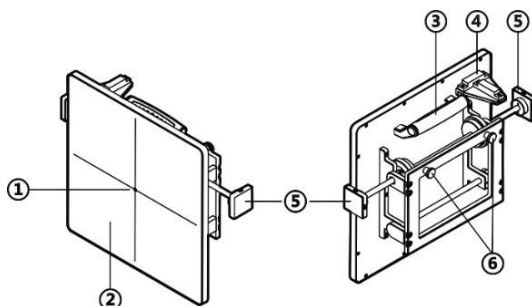


図1 リフレクターCSC0602 / 01

1. レーザーパススルーホール
2. 反射面
3. ハンドル
4. 微傾計
5. ギアノブ-様々なキャリブレーションに必要な様々なギア
6. フック

## レーザー

レーザー-CSC0500 / 04 は、車両の中心軸を識別するために使用されます。

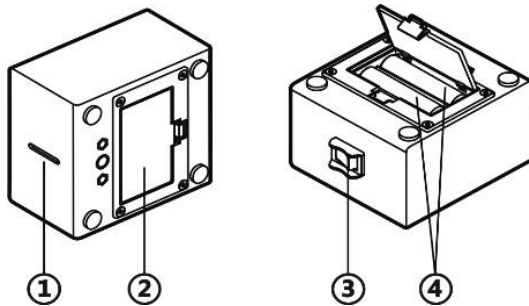


図2 3 レーザー-CSC0500 / 04

1. レーザーアウトレット
2. バッテリーボックス
3. 電源スイッチ
4. 乾電池

## ミニリフレクター

ミニリフレクター-CSC0602 / 07 はキャリブレーションフレームのレーザーと共に使用して、レーザーと平行にキャリブレーションフレームのリフレクターを調整します。

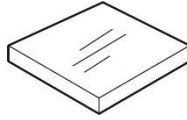


図2 ミニリフレクター-CSC0602 / 07

## キャリブレーションスタンド

キャリブレーションスタンド GSC0800 は、レーダーキャリブレーション用のコーナーリフレクターを保持するために使用されます。

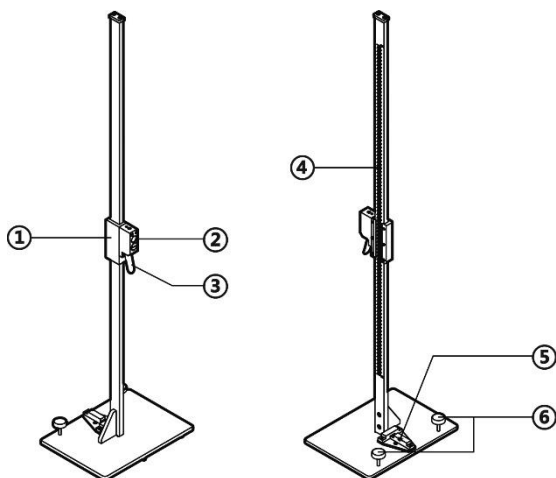


図3 キャリブレーションスタンド GSC0800

1. 固定ロック-取り付けスロットを締めます。
2. 取り付けスロット-コーナーリフレクターまたはその他のキャリブレーションツールの固定軸を取り付けます。
3. ハンドル
4. ルーラー-高さの測定用
5. 微傾計
6. 水平調整ネジ-スライドブロックの高さの水平位置調整用。

# ホイールランプキット

---

## ホイールランプ

ホイールランプ CSC0500 / 01 は車両のホイールに取り付けます。レーザー CSC0500 / 02 のサポートを行い、レーザー光線は車両の中心軸と平行になります。

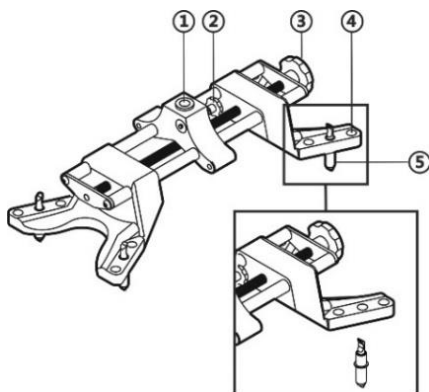


図2 ホイールランプ CSC0500 / 01

1. 固定軸スロット-レーザーの固定軸を挿入します。
2. ネジ 1-ネジを締めることで固定軸スロットを締めます。
3. ネジ 2-ネジを締めることでホイールランプをホイールに締め付けます。
4. 爪スロット-異なるサイズのホイールの爪を調整します。
5. 爪-ホイールランプをホイールに取り付けます。

## レーザー

レーザーCSC0500 / 02 は、リフレクターを水平および垂直の両方に位置合わせするために必要です。

固定軸-ホイールクランプの固定軸スロットに挿入します。

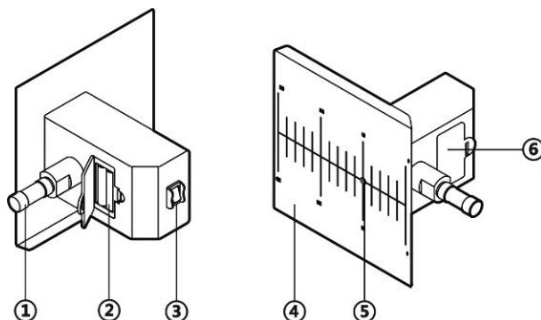


図2 レーザーCSC0500 / 02

1. 固定軸
2. 乾電池
3. 電源スイッチ
4. スケールボード
5. レーザーパススルーホール
6. バッテリーボックス

## アクセサリキット I (日本および韓国車用)

### レーダーキャリブレーションプレート

レーダーキャリブレーションプレート CSC0602 / 02 は、キャリブレーションフレームのクロスバーのスライドボードに取り付けます。コンチネンタルレーダーのキャリブレーションにレーダーキャリブレーションプレートが使用されます。

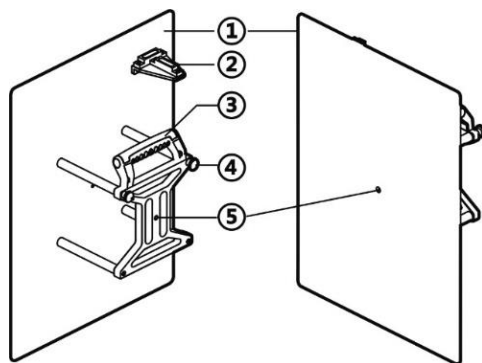


図4 レーダーキャリブレーションプレート CSC0602 / 02

1. プレート表面
2. 微傾計
3. ハンドル
4. フック
5. レーザーパススルーホール



## コーナーリフレクター

コーナーリフレクターGSC0802 / 01 はキャリブレーションフレームのクロスバーのスライドボードに取り付けます。レーダーキャリブレーションプレートを使用してミリ波レーダーのキャリブレーションを行います。

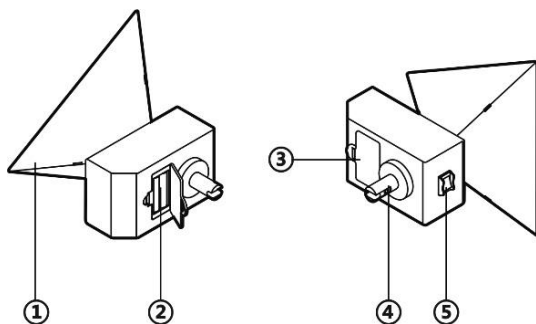


図2-9 コーナーリフレクターGSC0802 / 01

1. 三角信号受信ボード
2. 乾電池
3. バッテリーボックス
4. 固定軸
5. 電源スイッチ

## アクセサリキット II (ヨーロッパおよび米国の車両用)

### NV キャリブレーター (VW および GM 車両)

NV キャリブレータ CSC0603 / 01 は、キャリブレーションフレームのクロスバーのスライドボードに取り付けることにより、VW および GM 車両の暗視システムキャリブレーションに使用されます。

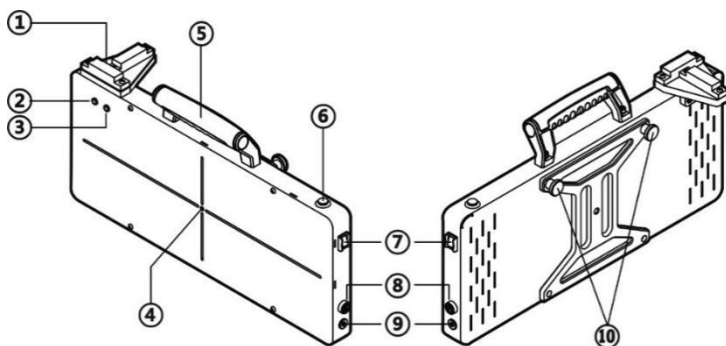


図210 -NV キャリブレーター-CSC0603 / 01

1. 微傾計
2. 電源 LED (赤)
3. 電源 LED (緑色)
4. レーザーパススルーホール
5. ハンドル
6. 操作スイッチ
7. 電源スイッチ
8. ヒューズソケット
9. DC 電源入力ポート
10. フック

## NV キャリブレーター（ベンツ）

NV キャリブレーターCSC0803 / 01 は、メルセデツベンツ車の暗視システムのキャリブレーションに使用されます。

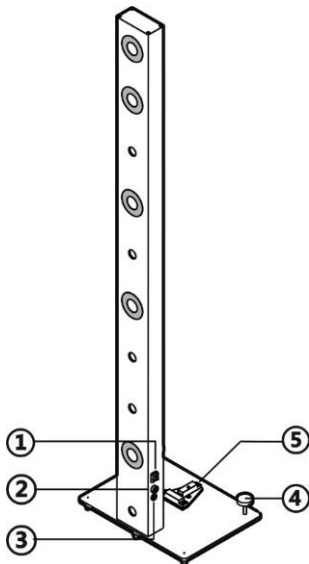


図 2-11 NV キャリブレーター（ベンツ）CSC0803 / 01

1. 電源スイッチ
2. ヒューズソケット
3. DC 電源入力ポート
4. 水平調整ねじ
5. 微傾計

## レーダーキャリブレーションボックス

レーダーキャリブレーションボックス CSC0605 / 01 は、キャリブレーションフレームのクロスバーのスライドボードに取り付けることにより、VW 車の死角検出システムのキャリブレーションに使用されます。

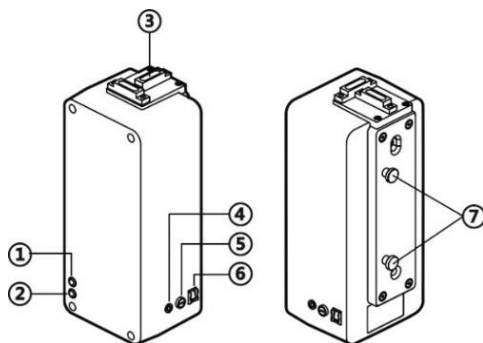


図212-レーダーキャリブレーションボックス CSC0605 / 01

1. 電源 LED（緑色）
2. 電源 LED（赤）
3. 微傾計
4. DC 電源入力ポート
5. ヒューズソケット
6. 電源スイッチ
7. フック

## レーダーキャリブレーションプレート

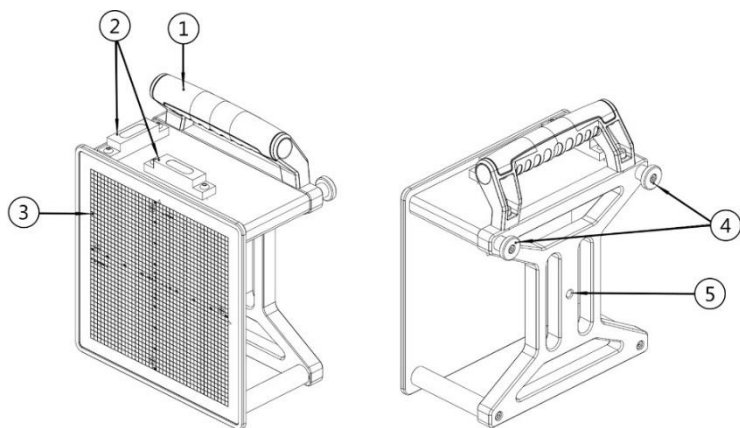


図212-レーダーキャリブレーションプレート CSC0602 / 08

1. ハンドル
2. 微傾計
3. スケールボード
4. 取り付けバックル
5. レーザーホール

## ターゲットボード

パターン CSC0806 / 01 とともに、ターゲットボード CSC0804 / 01 は、VW 車両のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。

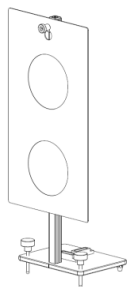


図2-13 ターゲットボード CSC0804 / 01

## 12V 電源アダプター

12V 電源アダプター-CSC0500 / 08 は、VW NV キャリブレーター（CSC0603 / 01）および ベンツ NV キャリブレーター（CSC0803 / 01）の電源に使用されます。



図2-14 12V 電源アダプタ CSC0500 / 09

## 24V 電源アダプター

24V 電源アダプター-CSC0500 / 08 は、電源レーダーキャリブレーションボックス（CSC0605 / 01）に使用されます。



図2-15 24V 電源アダプター

## パターンボード

キャリブレーションフレームのパターンボード CSC0601 / 01 は、異なる車両の車線逸脱警告システムキャリブレーションの異なるパターンを貼り付けるために使用されます。

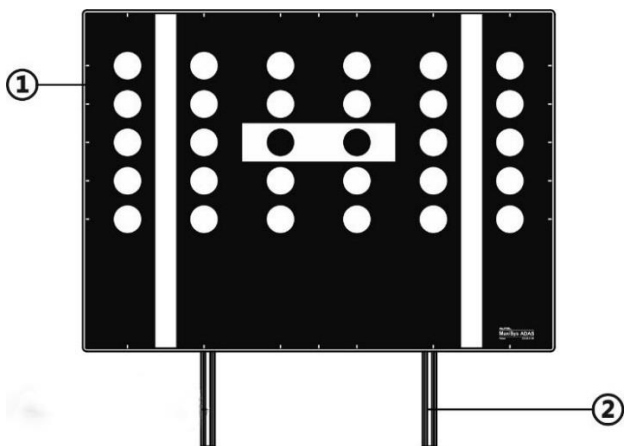


図 2-16 パターンボード-フロント CSC0601 / 01

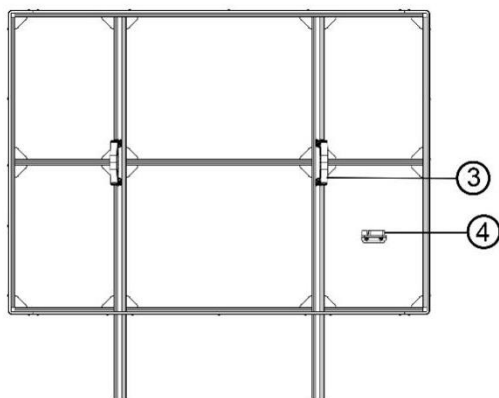


図 2-17 パターンボード-背面 CSC0601 / 01

1. パターンボード
2. 固定ポール
3. ハンドル

#### 4. 微傾計

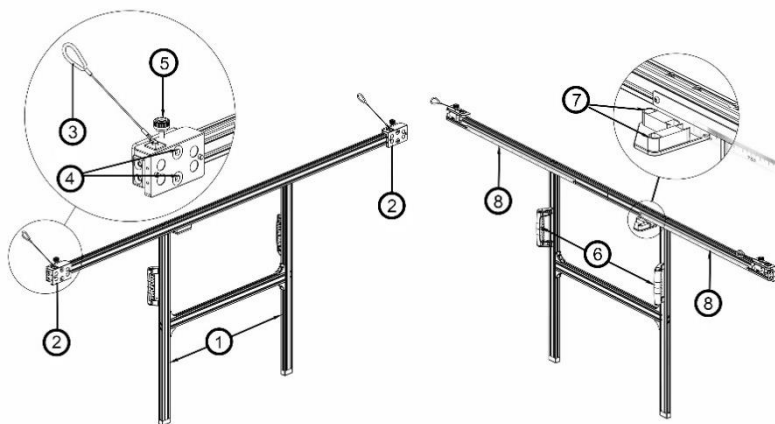


図 2-18 ターゲットボードホルダー-CSC0600 / 02

1. ポール
2. スライドプレート
3. ロッカー
4. マグネット
5. ノブ
6. ハンドル
7. 微傾計
8. ルーラー



## ターゲットボードとパターンキット I (LDW システム用)

---

### ターゲットボード CSC0601 / 08-L

ターゲットボード CSC0601 / 08-L は、ホンダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-19 ターゲットボード CSC0601 / 08-L

### ターゲットボード CSC0601 / 08-R

ターゲットボード CSC0601 / 08-R は、ホンダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-20 ターゲットボード CSC0601 / 08-R

### ターゲットボード CSC0601 / 05

ターゲットボード CSC0601 / 05 は、ホンダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-21 ターゲットボード CSC0601 / 05

### ターゲットボード CSC0601 / 11

ターゲットボード CSC0601 / 11 は、トヨタ/レクサス車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



図 2-22 ターゲットボード CSC0601 / 11

### ターゲットボード CSC0601 / 15

ターゲットボード CSC0601 / 15 は、トヨタ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。

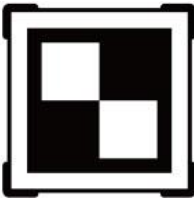


図 2-23 ターゲットボード CSC0601 / 15

### ターゲットボード CSC0601 / 09

ターゲットボード CSC0601 / 09 は、ヒュンダイ/起亜車両の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。

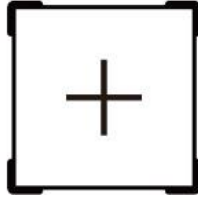


図 2-24 ターゲットボード CSC0601 / 09

## パターン CSC0601 / 02

パターン CSC0601 / 02 は、メルセデスベンツ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。

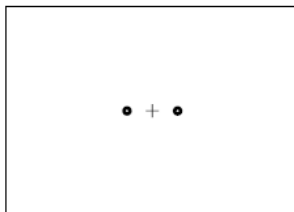


図 2-25 パターン CSC0601 / 02

## ターゲットボード CSC0601 / 02

ターゲットボード CSC0601 / 02 は、メルセデスベンツ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。

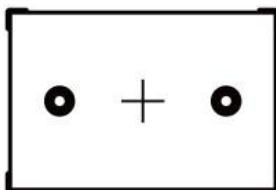


図 2-26 ターゲットボード CSC0601 / 02

## パターン CSC0601 / 19

パターン CSC0601 / 19 は、メルセデスベンツ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。

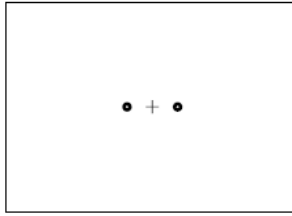


図 2-25 パターン GSC0601 / 19

### ターゲットボード GSC0601 / 19

ターゲットボード GSC0601 / 19 は、メルセデスベンツ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。

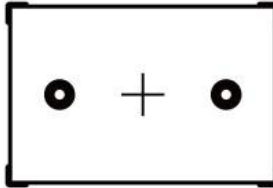


図 2-26 ターゲットボード GSC0601 / 19

### パターン GSC0601 / 03

パターン GSC0601 / 03 は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



図 2-27 パターン GSC0601 / 03

## パターン CSC0601 / 04

パターン CSC0601 / 04 は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (3)。



図2-27 パターン CSC0601 / 04

## ターゲットボード CSC0601 / 03-L

ターゲットボード CSC0601 / 03-L は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



図2-28 ターゲットボード CSC0601 / 03-L

## ターゲットボード CSC0601 / 03-R

ターゲットボード CSC0601 / 03-R は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



図 2-29 ターゲットボード CSC0601 / 03-R

## ターゲットボード CSC0601 / 04-L

ターゲットボード CSC0601 / 04-L は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (3)。



図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 04-L

## ターゲットボード CSC0601 / 04-R

ターゲットボード CSC0601 / 04-R は、日産車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (3)。



図 2-29 ターゲットボード CSC0601 / 04-R

## ターゲットボード CSC0601 / 08-L

ターゲットボード CSC0601 / 08-L は、ホンダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 08-L

### ターゲットボード CSC0601 / 08-R

ターゲットボード CSC0601 / 08-R は、ホンダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。

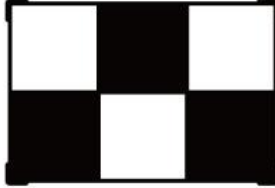


図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 08-R

### ターゲットボード CSC0601 / 12

ターゲットボード CSC0601 / 12 は、マツダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。

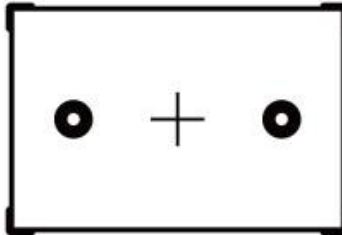


図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 12

### パターン CSC0601 / 12

ターゲットボード CSC0601 / 12 は、マツダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



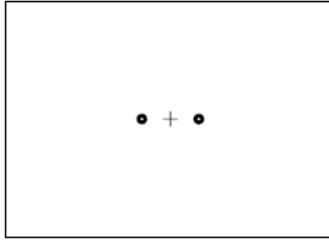


図 2-28 パターン CSC0601 / 12

### ターゲットボード CSC0601 / 13-L

ターゲットボード CSC0601 / 13-L は、マツダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。

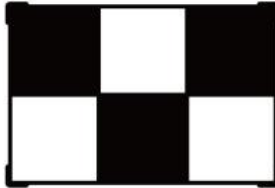


図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 13-L

### ターゲットボード CSC0601 / 13-R

ターゲットボード CSC0601 / 13-R は、マツダ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-28 ターゲットボード CSC0601 / 13-R

## パターン GSC0601 / 14

パターン GSC0601 / 14 は、スバル車の車線逸脱警報システムのキャリブレーションに使用されます (1)。



図 2-30 パターン GSC0601 / 14

## パターン GSC0601 / 20

パターン GSC0601 / 20 は、ルノー車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-30 パターン GSC0601 / 20

## パターン GSC0601 / 22

パターン GSC0601 / 22 は、三菱車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-30 パターン CSC0601 / 22

### ターゲットボード CSC0601 / 22-L

ターゲットボード CSC0601 / 22-L は、三菱車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-22 ターゲットボード CSC0601 / 22-L

### ターゲットボード CSC0601 / 22-R

ターゲットボード CSC0601 / 22-R は、三菱車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-23 ターゲットボード CSC0601 / 22-R

### ターゲットボード CSC0601 / 06-L

ターゲットボード CSC0601 / 06-L は、日産/インフィニティ車の車線逸脱警

告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-31 ターゲットボード *CSC0601 / 06-L*

### ターゲットボード *CSC0601 / 06-R*

ターゲットボード *CSC0601 / 06-R* は、日産/インフィニティ車の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-32 ターゲットボード *CSC0601 / 06-R*

### パターン *CSC0601 / 07*

パターン *CSC0601 / 07* は、ヒュンダイ/ 起亜車両の車線逸脱警告システムのキャリブレーションに使用されます (1)。

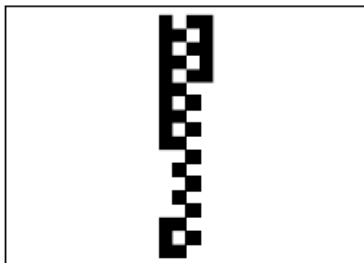


図 2-33 パターン *CSC0601 / 07*

## パターンキット II (AVM システム用)

---

### パターン CSC0806 / 01

パターン CSC0806 / 01 は、VW 車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。

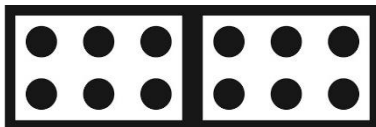


図 2-34 パターン *CSC0806 / 01*

### パターン CSC1004 / 02

パターン CSC1004 / 02 は、特定のホンダ車のアラウンドビューモニタリングシステムシステムキャリブレーションに使用されます (1)。



図 2-35 パターン *CSC1004 / 02*

### パターン CSC1004 / 03

パターン CSC1004 / 03 は、特定のホンダ車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます (2)。

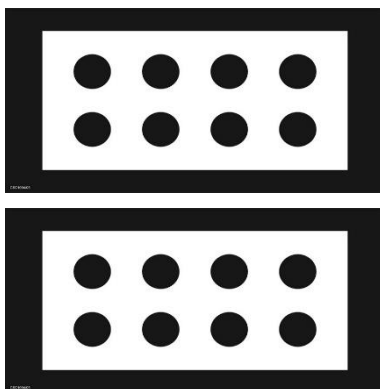


図 2-36 パターン CSC1004 / 03

### パターン CSC1004 / 01

パターン CSC1004 / 01 は、VW 車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます (2)。



図 2-37 パターン CSC1004 / 01

### パターン CSC1004 / 05

パターン CSC1004 / 05 は、フォード車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-38 パターン CSC1004 / 05

### パターン CSC1004 / 06

パターン CSC1004 / 06 は、キャデラック車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-39 パターン CSC1004 / 06

### パターン CSC1004 / 07

パターン CSC1004 / 07 は、ポルシェ車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-5 パターン CSC1004 / 07

## パターン CSC1004 / 08

パターン CSC1004 / 08 は、PSA 車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-41 パターン CSC1004 / 08

## パターン CSC1006 / 03

パターン CSC1006 / 03 は、中国以外の地域の日産車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-41 パターン CSC1006 / 03

## パターン CSC1006 / 04

パターン CSC1006 / 04 は、中国の日産車のアラウンドビューモニタリングシステムのキャリブレーションに使用されます。



図 2-41 パターン CSC1006 / 04

## パターン GSC1006 / 01

パターン GSC1006 / 01 は、メルセデツベンツ車の後方衝突警告システムのキャリブレーションに使用されます。

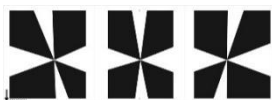


図 2-426 パターン GSC1006 / 01

## 技術仕様

---

### レーザー測距装置

表 2-1 仕様

機能	仕様
モデル	dTape5
測定範囲	0.2~20m
測定精度	±2mm
連続測定	可能
測定ユニット	m/ft/in/ft + in
レーザークラス	クラス 2
波長	630~670nm
放射電力	<1mW
参考	裏側
電池タイプ	AAA 2x1.5V
稼働温度	0°C ~ 40°C
サイズ	100*35*23mm

### VW ナイトビジョンキャリブレター

表 2-2 仕様



機能	仕様
モデル	CSC0603/01
電圧	12V
電流	3A
レート	36W
サイズ	400*47*240mm
稼働温度	-20℃ ~ 50℃

## ベンツナイトビジョンキャリブレーター

表 2-3 仕様

機能	仕様
モデル	CSC0803/01
電圧	12V
電流	4A
レート	24W
サイズ	400*47*240mm
稼働温度	-20℃ ~ 50℃

## レーダーキャリブレーションボックス

表 2-4 仕様

機能	仕様
モデル	CSC0605/01

電圧	24V
電流	1A
レート	24W
サイズ	338*150*135mm
稼働温度	-20℃ ~ 50℃

## ホイールクランプレーザー

表 2-5 仕様

機能	仕様
シリアル番号	CSC0500/02
電圧	5V
電流	0.8A
レート	4W
レーザークラス	クラス 2
波長	650nm
スポットサイズ	5mm
レーザー速度	0.5mW~1mW
作業範囲	20m
稼働温度	-10℃ ~ 40℃
サイズ	174*145*126mm

## コーナーリフレクター

表 2-6 仕様

機能	仕様
シリアル番号	CSC0802/01
電圧	5V

電流	0.8A
レート	4W
レーザークラス	クラス 2
波長	650nm
スポットサイズ	5mm
レーザー速度	0.5mW~1mW
作業範囲	20m
稼働温度	-10℃ ~ 40℃
サイズ	168*168*165mm

## キャリブレーションフレームのレーザー

表 2-7 仕様

機能	仕様
シリアル番号	060004
電圧	5V
電流	0.8A
レート	4W
レーザークラス	クラス 2
波長	650nm
スポットサイズ	5mm
レーザー速度	0.5mW~1mW
作業範囲	20m
稼働温度	-10℃ ~ 40℃
サイズ	300*202*57mm

## ラインレーザー

表 2 8 仕様

機能	仕様
----	----

シリアル番号	CSC0500/04
電圧	5V
電流	0.8A
レート	4W
レーザークラス	クラス 2
波長	520nm
レーザー速度	0.5mW~1mW
作業範囲	10m
稼働温度	0°C ~ 65 °C
サイズ	93*74*55mm

# 3 カメラとセンサーのキャリブレーション

Autel の MaxiSys ADAS は、アダプティブクルーズコントロール (ACC)、死角検知機能 (BSD)、リアビューカメラ (RVC)、車線維持支援機能、アラウンドビューモニタリング (AVM)、およびナイトビジョンシステム (NVS) のキャリブレーションをサポートします。

この章では、キャリブレーションが必要な場合の必要なツールと準備方法、およびツールセットの配置を例として VW 車で紹介します。これらの情報は車両とモデルによって異なるため、ADAS キャリブレーションセッションを開始すると、すべての情報がタブレットのヘルプセクションに含まれます。安全で正確なキャリブレーションを行うために、整備されている車両のヘルプセクションの特定の指示に従ってください。

キャリブレーションツールセットの配置に続いてキャリブレーション手順が実行され、その間、MaxiSys ADAS タブレットは車両 ECU と通信してキャリブレーションを完了します。キャリブレーション手順も車両やモデルによって異なります。MaxiSys ADAS タブレットの指示に従ってキャリブレーションを実行してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) システム

---

これは VW 車の指示例です。

キャリブレーション手順は車両ごとに異なります。タブレットの指示に従ってください。

### キャリブレーションが必要な状況を選択してください

- アダプティブクルーズコントロール (ACC) レーダーセンサーコントロールユニットの修理または交換
- ACC レーダーセンサーの逸脱角度が正常範囲外
- 車体の ACC レーダーセンサーの位置調整
- バンパーまたはラジエーターグリルの修理または交換
- シャーシの調整

## 必要なキャリブレーションツール

- キャリブレーションフレーム CSC0600
- リフレクターCSC0602 / 01
- ミニリフレクターCSC0602 / 07
- ホイールランプ (x2) CSC0500 / 01
- レーザー (x2) CSC0500 / 02
- 六角レンチ CSC0602 / 06
- 巻尺

## キャリブレーションの準備

### 注意

1. キャリブレーションの前に、車両にナイトビジョンシステムが装備されているかどうかを確認してください。
  2. ナイトビジョンシステムが装備されている場合、MaxiSys ADAS タブレットを使用して、キャリブレーションが必要かどうかを確認します。キャリブレーションが必要な場合は、タブレットのナイトビジョンシステムのキャリブレーション指示に従ってキャリブレーションを完了してください。
  3. ナイトビジョンシステムのキャリブレーションが完了したら、ACC レーダーセンサーのキャリブレーションを、同じキャリブレーションフレーム CSC0600 を使用して同じ位置で実行できます。
  4. ナイトビジョンシステムが車両にない場合、またはキャリブレーションする必要がない場合は、ACC レーダーセンサーのキャリブレーションを実行してください。
- 
- 前輪が真っ直ぐになるように車両を平らで水平な面に駐車し、車両の前方 3 メートルまたは 10 フィート以内に物体がないことを確認します。
  - 車両を完全に停止させ、後車軸のステアリングをまっすぐにし、イグニッションをオフにします。
  - 車両のクーラントとエンジンオイルが推奨レベルにあり、ガスタンクが満タンであることを確認してください。車両は荷物（乗客または貨物）を積んではいけません。

- VCI を車両に取り付け、診断ツールを車両に接続します（OBDII ケーブルで接続する場合は、ケーブルを窓に通してください）。
- 車両のドアを閉じて、すべての外部照明をオフにします。
- タイヤの空気圧を推奨値に調整します。
- バッテリー充電器を接続して、手順が中断することなく完了するようにし、バッテリーの放電を防ぎます。
- エアサスペンションを装備した車両の場合、「ジャックモード」を有効にしてください。
- 通常、ACC レーダーセンサーはフロントバンパーの両側にあります。
- ACC レーダーセンサーのグリルを取り外して、センサーがしっかりと取り付けられているか、破損しているかどうかを確認します。破損している場合は、センサーを交換して再度取り付けます。センサーがしっかりと接続されていることを確認してください。

---

## 🔗注意

---

- センサーの場所は、車両によって異なります。
- このキャリブレーション機能を実行するには、キャリブレーションフレームを要求どおりに配置する必要があります。
- 「ヘルプ」をタップしてセットアップ手順を表示するか、「ビデオ」をタップしてデモを表示します。キャリブレーションフレームのセットアップと推奨ツールの収集が完了したら、「OK」をタップしてキャリブレーションを開始します。

---

## キャリブレーションツールセットの配置

---

### 🔗注意

システムが存在する場合、またはまだ完了していない場合は、ナイトビジョンシステムのキャリブレーションを実行します。タブレットには、ナイトビジョンシステムのキャリブレーション手順が表示されます。ナイトビジョンシステムのキャリブレーションと ACC キャリブレーションは、同じキャリブレーションフレームを使用します。

---

### ➤ キャリブレーションフレームの配置

1. キャリブレーションフレームを車両の前の平らな地面に移動します。パターンボードがクロスバーに取り付けられている場合は、最初に取り外します。

2. 微調整ボルト（位置 1）を回転し、マークされた行を位置 A に揃えます。
3. ハンドル（位置 2）を緩め、微調整ボルト（位置 3）を回して、位置 B のスケール値が 0 になるようにします。ハンドル（位置 2）を締め、クロスバーを固定します。
4. スライドプレートのポインターを位置 C のマークされた線に合わせます。次に、ボルト（位置 4）を回転して、スライドプレートを固定します。

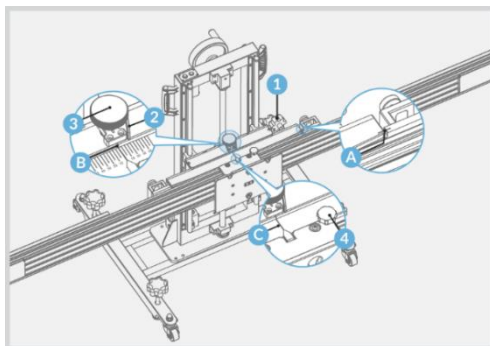


図 3-1 キャリブレーションフレームの配置

5. 前輪がまっすぐ前方を向いていることを確認してください。
6. キャリブレーションフレーム CSC0600 を車両のフロントセンターの直前に配置します。クロスバーの高さを調整して、前輪の中心とほぼ同じ高さになるようにします。次に、レーザー（位置 1）をオンにし車両の前部中央に向けます。

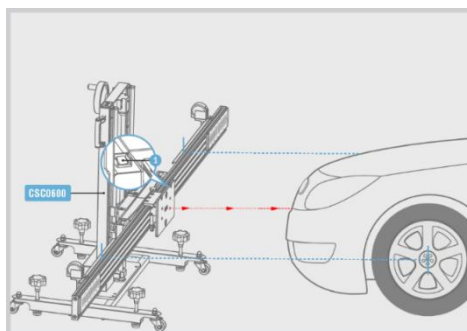


図 3-2 レーザーを中央に配置します

7. キャリブレーションフレームのハンドルを持ち、車両のエンブレムと



クロスバーのスライドプレート間の距離が  $A = 130\text{cm} \pm 2.3\text{cm}$  になるまでフレームを動かします（値はアウディ/ アウディ A4 USA / CAN 2016 以降/ サルーンに適用されます）。レーザーは車両の前部中央に残ります。次に、レーザー（位置 1）をオフにします。

8. ベースのすべてのボルトを地面にわずかに触れるまで回します。

### 注意

クロスバーの片側から一方の前輪の中心までの距離と、クロスバーのもう一方の側から他方の前輪の中心までの距離が等しいことを確認してください。

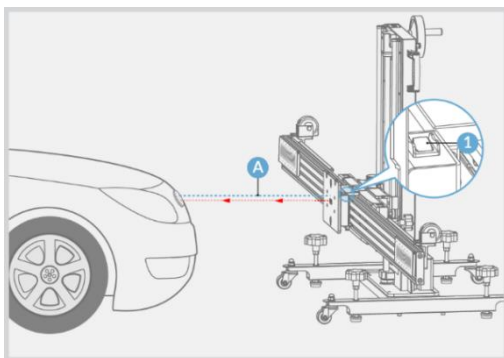


図 33-車両とクロスバーの距離を測定します

9. ホイールクランプ CSC0500 / 01 を確認し、4 つの爪（位置 2）の長さが等しいことを確認します。
10. 2 つのホイールクランプをそれぞれ後輪に取り付け、つめ（位置 2）がしっかりと固定されるまでボルト（位置 1）を時計回りに回転させます。
11. レーザーの接続シャフト（位置 4）をクランプポート（位置 5）に完全に挿入し、レーザーキャリブレーションボードが車両の進行方向を向いていることを確認します。ボルト（位置 3）を締めて、レーザーを固定します。

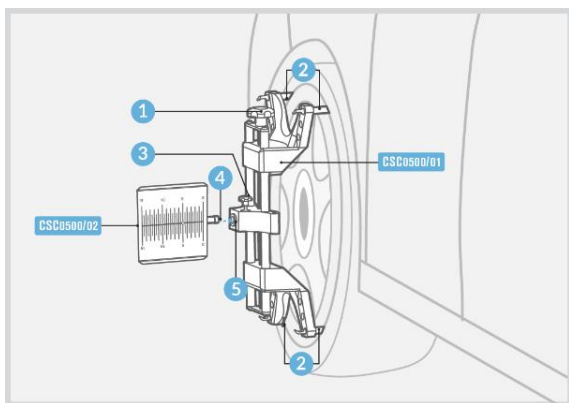


図 3-4 ホイールクランプの取り付け

➤ 車両の前でキャリブレーションフレームを中央に配置します

1. 後輪に取り付けられているレーザー-CSC0500 / 02 をオンにし、クロスバーカバープレートの両側の定規にレーザーを向けるように調整します。
2. ハンドル(位置 1) を緩め微調整ボルト(位置 2) を両側のルーラーがレーザーで同じ値になるまで回します。次に、ハンドル(位置 1) をクロスバーに固定します。
3. クロスバーの両端のカバープレートを開きます。
4. 後輪に取り付けられたレーザー-CSC0500 / 02 を調整して、レーザーがクロスバリフレクターのどこにでも照射できるようにします。

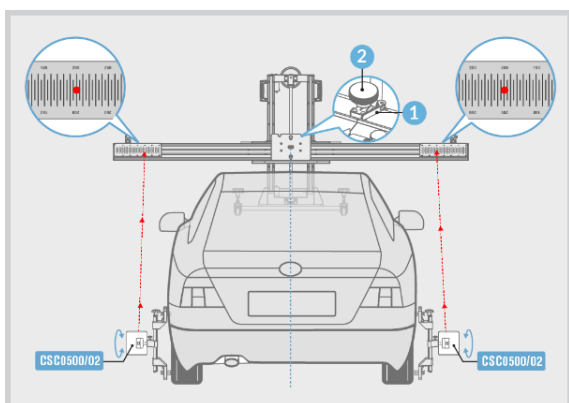


図 3-5 レーザーがクロスバーを照らします

5. 後輪に取り付けられているレーザーを調整して、反射レーザーの上下運動を制御します。最後に、反射レーザー（少なくとも片側）は、レーザー座標ボードのスケールボードに配置する必要があります。
6. 微調整ボルト（位置 1）を回転し、反射レーザーの左右の動きを制御します。
7. 上記の調整に続いて、両側の反射レーザーで照らされるスケール値は同じでなければなりません。
8. クロスバーの両端でカバープレートを折りたたみます。

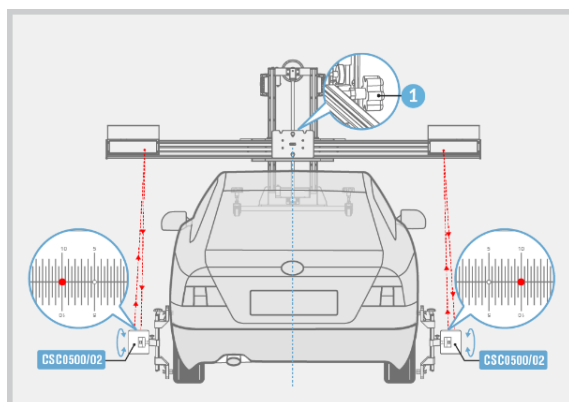


図 3-6 レーザーの調整

9. キャリブレーションフレームが正しく配置されました。両方の後輪のホイールクランプに取り付けられているレーザーをオフにし、ホイールクランプを取り外します。
10. **終了**をタップしてキャリブレーション準備画面に戻り、**OK**をタップしてキャリブレーション機能を開始します。
11. キャリブレーションフレームが適切に配置されているかどうかを確認します。適切に配置されている場合は、**OK**をタップして、キャリブレーション機能を続行します。
12. キャリブレーションフレームが適切に配置されるまで、キャリブレーション機能を実行しないでください。**キャンセル**をタップして、キャリブレーション準備画面に戻り、キャリブレーションフレームの配置手順を示します。

➤ リフレクターを取り付けて、水準器を参照します

1. リフレクターCSC0602 / 01 をクロスバースライドプレートに完全に取り付けます。
2. ボルト（位置 1）を回転させて、ラベル 2 の付いた面が上を向くようにします。

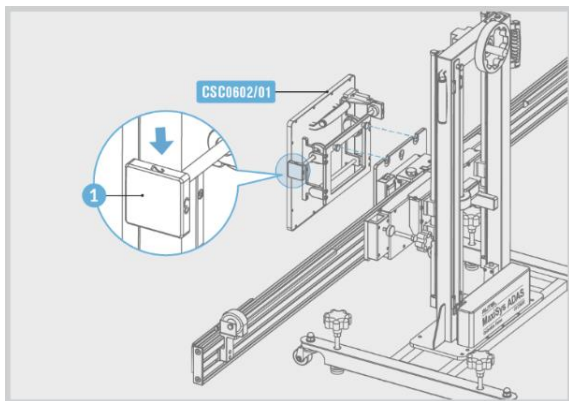


図 3-7 リフレクターの取り付け

3. すべてのボルト（位置 1）を回転して、キャリブレーションフレームのベースで、水準器（位置 2）を参照します。

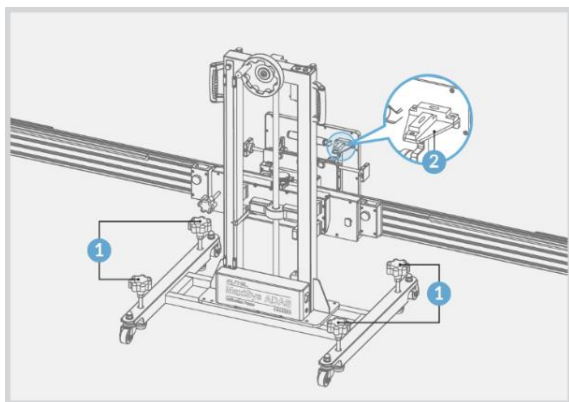


図 3-8 水準器の参照

4. レーザー（位置 1）をオンにします。
5. クロスバーの高さを調整し、リフレクターCSC0602 / 01 を左右に動かして、レーザービーム（位置 2）をミニリフレクター（位置 3）にあるレーザーセンサー（車両の進行方向の右側）に合わせます。

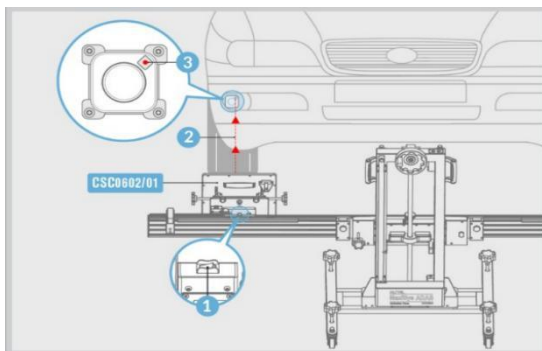


図 3-9 レーザーの調整

---

#### 注意

- 調整中に水準器が移動した場合、水平位置を再調整する必要があります。
  - 調整ボルトの位置は、車両によって異なる場合があります。反射したレーザーが原点に揃うまで斜めのボルトを調整します。
- 
6. 六角レンチ CSC0602 / 06 を使用して、センサーボルト（位置 1 と位置 2）を調整して、反射レーザー（位置 3）を原点（位置 4）に合わせます。
  7. 同様に、車両の進行方向の左側にある ACC レーダーセンサーを調整します。

---

#### 注意

- イグニッションがオンになっていることを確認します。
- 診断がスムーズに行われるようにするには、診断電圧を 12V より高くしてください。電圧が不十分な場合は、デバイスを充電器に接続してください。

---

#### ➤ 右 ACC レーダーセンサーのキャリブレーション

1. クロスバーの高さを調整し、リフレクターを左右に動かして、レーダ

ーセンサー（位置 1）にレーザービームが向くようにします。

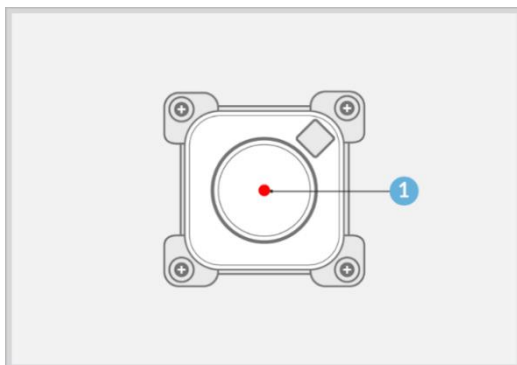


図 3-10 ACC レーダーセンサーのキャリブレーション

**注意**

調整中に水準器が移動した場合、水平位置を再調整する必要があります。

2. リフレクターノブ CSC0602/01 のノブ（位置 A）を回して、ラベル 1 が付いた面が上を向くようにします。

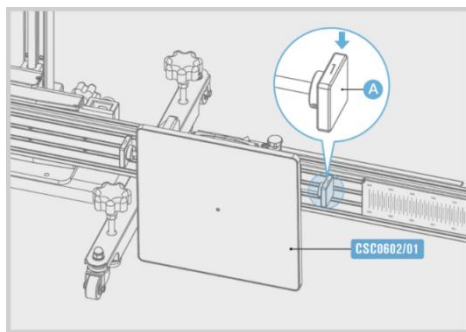


図 3-11 リフレクターの調整

3. リフレクターノブ CSC0602/01 のノブ（位置 A）を回して、ラベル 2 の付いた面が上を向くようにします。
4. リフレクターノブ CSC0602/01 のノブ（位置 A）を回して、ラベル 3 の付いた面が上を向くようにします。
5. 距離調整制御モジュール-J2534（マスター）は正常に調整されました。最後に、距離調整制御モジュール 2-J2534（スレーブ）が調整されます。

同様に、左 ACC レーダーセンサーを調整します。

# レーンチェンジアシスト (LCA) システム

---

これは VW 車の指示例です。

キャリブレーション手順は車両ごとに異なります。タブレットの指示に従ってください。

## キャリブレーションが必要な状況を選択してください

- レーンチェンジアシストコントロールユニットの修理または交換
- リアバンパーフード/トランクの修理または交換
- 車両のレーンチェンジアシストコントロールユニットの位置の調整

## 必要なキャリブレーションツール

- キャリブレーションフレーム GSC0600
- レーダーキャリブレーションボックス GSC0605 / 01
- ホイールランプ (x2) GSC0500 / 01
- レーザー (x2) GSC0500 / 02
- 24V 電源アダプター
- 巻尺

## キャリブレーションの準備

- 前輪が真っ直ぐになるように車両を平らで水平な面に駐車し、車両の前方 3 メートルまたは 10 フィート以内に物体がないことを確認します。
- エアサスペンションを装備した車両の場合、シャーシの高さを中または自動 (インストルメントパネルに表示) に設定してください。
- 車両のクーラントとエンジンオイルが推奨レベルにあり、ガスタンクが満タンであることを確認してください。車両は荷物 (乗客または貨物) を積んではなりません。
- VCI を車両に取り付け、診断ツールを車両に接続します (OBD II ケーブルで接続する場合は、ケーブルを窓に通してください)。
- パーキングブレーキをかけ、すべてのドアを閉じます。車内には誰も立ち入らないでください。
- タイヤの空気圧を推奨値に調整します。



- 必要に応じて、バンパーのカバーを取り外します。

## 注意

- キャリブレーション中にドアを開閉しないでください。
- このキャリブレーション機能を実行するには、キャリブレーションフレームを要求どおりに配置する必要があります。
- ヘルプをタップしてセットアップ手順を表示するか、ビデオをタップしてデモを表示します。キャリブレーションフレームのセットアップと推奨ツールの収集が完了したら、OKをタップしてキャリブレーションを開始します。

## キャリブレーションツールセットの配置

- リフレクターを取り付けてキャリブレーションフレームを配置します
1. キャリブレーションフレームを車両の後ろの平らな地面に移動します。パターンボードがクロスバーに取り付けられている場合は、最初に取り外します。
  2. 微調整ボルト（位置1）を回転しマークされた行を位置Aに揃えます。
  3. ハンドル（位置2）を緩め、その後、微調整ボルト（位置3）を回して、位置Bのスケール値が0になるようにします。ハンドル（位置2）を締め、クロスバーを固定します。
  4. スライドプレートのポインターを位置Cのマークされた線に合わせます。次に、ボルト（位置4）を回転して、スライドプレートを固定します。

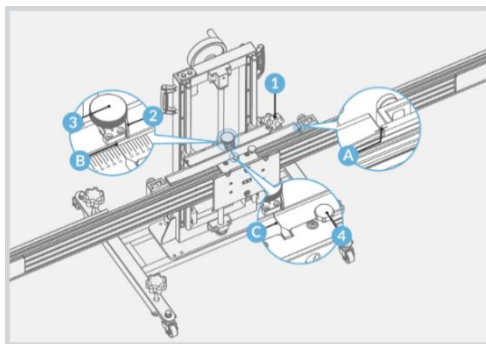


図 3-12 フレームの位置合わせ

➤ **キャリブレーションフレームを車両の後部にセンタリングします**

1. キャリブレーションフレームCSC0600を車両の後部中央の真後ろに配置します。クロスバーの高さを調整して、後輪の中心とほぼ水平になるようにします。次に、レーザー（位置1）をオンにし、車両の後部中央に照準を合わせます。

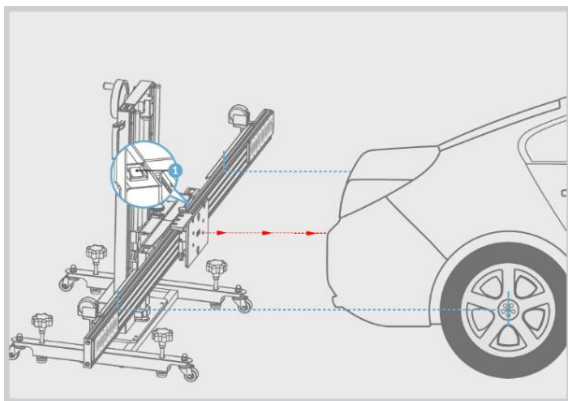


図 3-13 キャリブレーションフレームの中央揃え

2. キャリブレーションフレームのハンドルを保持し、両方の後輪の中心とクロスバーの間の（水平）距離がA = 240 cm（Audi / Audi A4 USA / CAN 2016以降/ Saloonに適用される）になるまでフレームを移動します。レーザーは車両の後部中央に残ります。次に、レーザー（位置1）をオフにします。
3. ベースのすべてのボルトを地面にわずかに触れるまで回します。

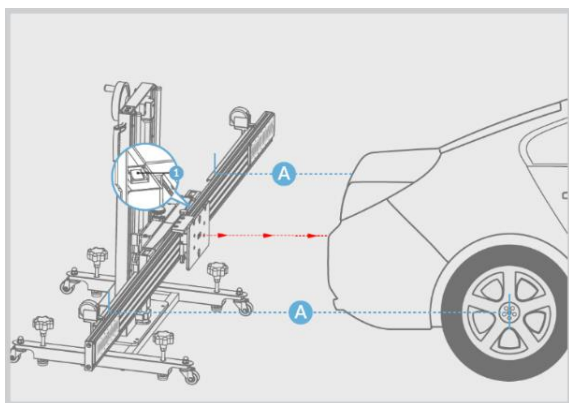


図 3-14 車両フレーム距離の調整

ⓘ **ご注意**

距離の調整中にクロスバーを動かさないでください。

4. ホイールクランプCSC0500 / 01を確認し、4つの爪の（位置2）長さが等しいことを確認します。

➤ **ホイールクランプの取り付け**

1. 2つのホイールクランプをそれぞれ後輪に取り付け、ボルト（位置1）を時計回りに回して、爪（位置2）がしっかりと固定されるようにします。
2. レーザーの接続シャフト（位置4）を完全にクランプポート（位置5）に挿入し、レーザーキャリブレーションボードが車両の背面を向くようにします。ボルト（位置3）を締めて、レーザーを固定します。

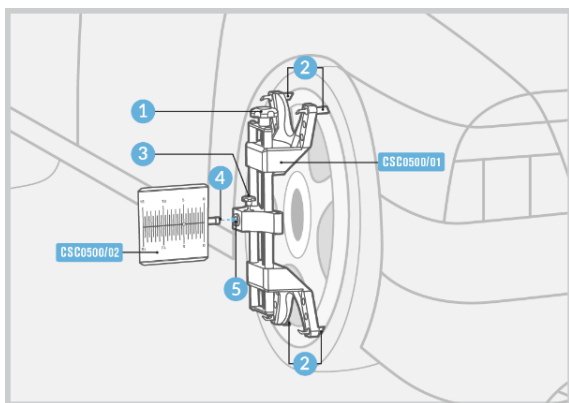
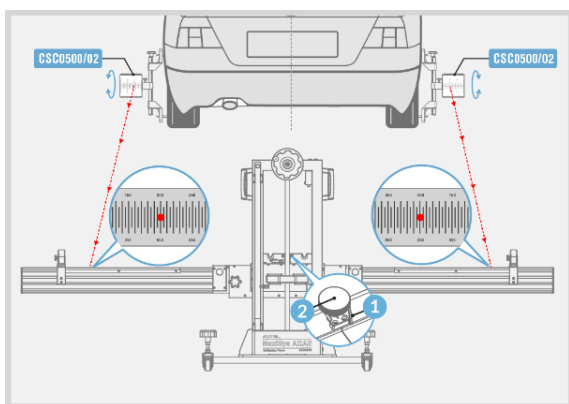


図 3-15 ホイールクランプの取り付け

➤ ルーラーでレーザーを調整します

1. 後輪に取り付けられているレーザーCSC0500 / 02をオンにし、クロスバーカバープレートの両側の定規にレーザーを向けるように調整します。
2. ハンドル(位置1)を緩め微調整ボルト(位置2)を両側のルーラーがレーザーで同じ値になるまで回します。次に、ハンドル(位置1)とクロスバーを固定します。
3. クロスバーの両端のカバープレートを開きます。
4. 後輪に取り付けられたレーザーCSC0500 / 02を調整して、レーザーがクロスバーリフレクターのどこにも照射できるようにします。



### 図 3-16 レーザーの調整

5. 後輪に取り付けられているレーザーを調整して、反射レーザーの上下運動を制御します。最後に、反射レーザー（少なくとも片側）は、レーザー座標ボードのスケールボードに配置する必要があります。
  6. 微調整ボルトを回転し、反射レーザーの左右の動きを制御します。
  7. 上記の調整に続いて、両側の反射レーザーで照らされるスケール値は同じでなければなりません。
  8. クロスバーの両端でカバープレートを折りたたみます。
  9. キャリブレーションフレームが正しく配置されました。両方の後輪のホイールクランプに取り付けられているレーザーをオフにし、ホイールクランプを取り外します。
  10. 終了をタップしてキャリブレーション準備画面に戻り、OKをタップしてキャリブレーション機能を開始します。
  11. キャリブレーションフレームが適切に配置されているかどうかを確認します。適切に配置されている場合は、OKをタップして、キャリブレーション機能を続行します。
  12. キャリブレーションフレームが適切に配置されるまで、キャリブレーション機能を実行しないでください。キャンセルをタップして、キャリブレーション準備画面に戻り、キャリブレーションフレームの配置手順を示します。
- **レーザーキャリブレーションボックスを取り付けて、水準器を参照します**
1. レーダーキャリブレーションボックスGSC0605 / 01をスライドプレートに完全に取り付けます。
  2. すべてのボルト（位置1）を回転して、キャリブレーションフレームのベースで、水準器（位置2）を参照します。

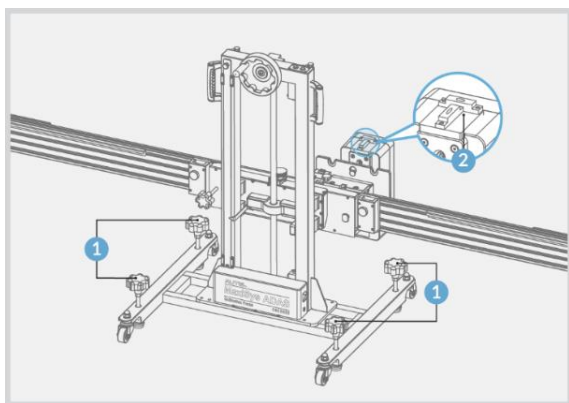


図 3-17 ボルトの回転

3. 付属の電源コードを電源ポート（位置 1）に差し込みます。スイッチ（位置2）をオンにします。赤色のLED（位置3）が点灯します。約10秒後、緑色のLED（位置4）が点灯しない場合、次の手順に進まないでください。

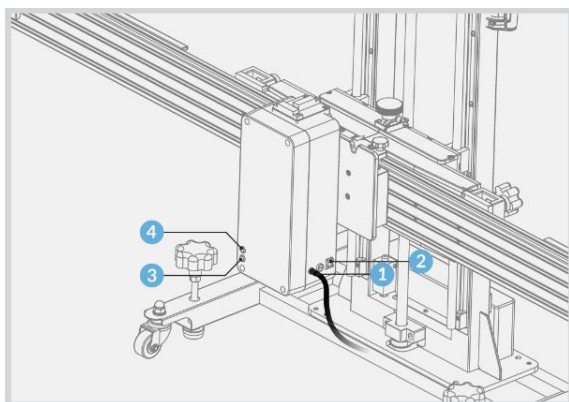


図 3-18 レーダーキャリブレーションボックスの取り付け

4. ルーラー上部のボルト（位置1）を緩めます。ルーラーが地面に触れるようにします。
5. クロスバー（位置2）の高さを調整して、ポインター（位置3）をルーラーのA側の715 mmに設定します。

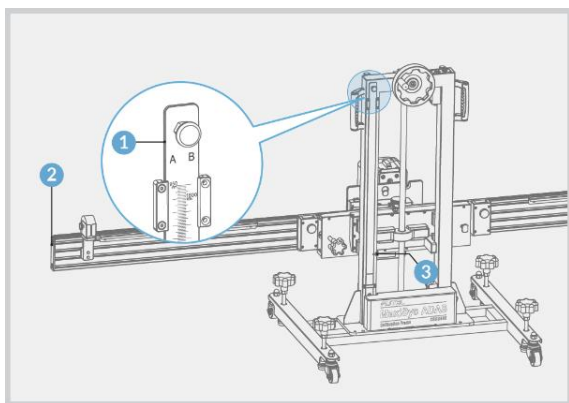


図 3-19 ルーラーのプッシュと固定

6. ルーラー（位置1）を押して、元の位置に戻して固定します。
7. キャリブレーションが成功するまで、タブレットの指示に従って次の手順を続けてください。

# レーンキープアシスト (LKA) システム

---

これは VW 車の指示例です。

キャリブレーション手順は車両ごとに異なります。タブレットの指示に従ってください。

## キャリブレーションが必要な状況を選択してください

- フロントビデオカメラの修理または交換
- フロントウインドシールドの修理または交換
- シャーシの調節
- 車体の高さ調節
- 車高センサーで車高を再学習する場合

## 必要なキャリブレーションツール

- キャリブレーションフレーム CSC0600
- パターンボード CSC0601 / 01
- ホイールクランプ (x2) CSC0500 / 01
- レーザー (x2) CSC0500 / 02
- 巻尺

## 車体の高さを確認します

駐車場を選択してください

1. 図 A のような水平な地面の場合は、図 A を選択します。
2. キャリブレーションフレームと車両が同じレベルにないスポット（ワークショップステーションなど）の場合、図 B を選択します。



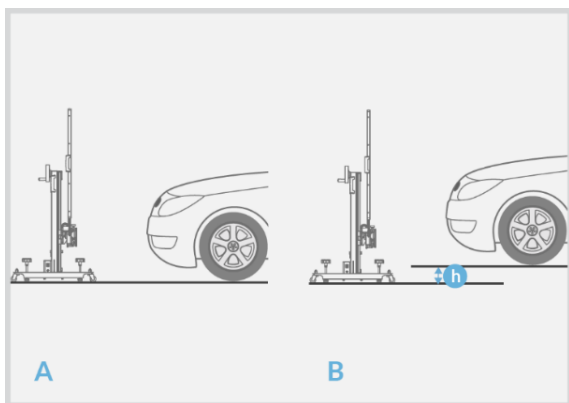


図 3-20 地上レベル

3. 図 B を選択した場合、2 つのレベル間の高さ「h」を測定し、測定値を入力します（単位：mm）。

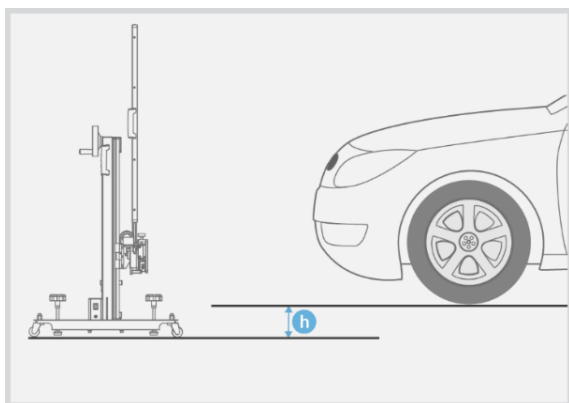


図 3-21 高さの違いの確認

- 
- ⓘ **ご注意**  
車体の高さがキャリブレーションフレームの調整可能な範囲内がない場合、メモインターフェイスが表示されます。ご注意に従って進みます。
-



## キャリブレーションの準備

- 前輪が真っ直ぐになるように車両を平らで水平な面に駐車し、車両の前方3メートルまたは10フィート以内に物体がないことを確認します。
- 車両を完全に停止させ、後車軸のステアリングをまっすぐにし、イグニッションをオフにします。
- 車両のクーラントとエンジンオイルが推奨レベルにあり、ガスタンクが満タンであることを確認してください。車両は荷物（乗客または貨物）を積んではなりません。
- VCI を車両に取り付け、診断ツールを車両に接続します（ケーブルで接続する場合は、ケーブルを窓に通してください）。
- 車両のドアを閉じて、すべての外部照明をオフにします。
- タイヤの空気圧を推奨値に調整します。
- 必要に応じて、完全放電を防ぐために車両を充電器に接続します。
- エアサスペンション装備の車両の場合、車両ジャックモードを有効にします。
- フロントガラスとカメラのレンズが汚れていないことを確認してください。
- キャリブレーション領域が十分に明るいことを確認してください。
- ダッシュボードをきれいにします。

---

### ②注意

- フロントガラスに反射がないことを確認します（反射した場合は黒い布で覆うことができます）。
  - このキャリブレーション機能を実行するには、キャリブレーションフレームを要求どおりに配置する必要があります。
  - ヘルプをタップしてセットアップ手順を表示するか、ビデオをタップしてデモを表示します。キャリブレーションフレームのセットアップと推奨ツールの収集が完了したら、OK をタップしてキャリブレーションを開始します。
  - 補助ツールの配置を完了するには、Autel キャリブレーションツールのユーザーマニュアルを参照してください。
-

## キャリブレーションツールセットの配置

- リフレクターを取り付けてキャリブレーションフレームを配置します
1. キャリブレーションフレームを車両の前の平らな地面に移動します。パターンボードがクロスバーに取り付けられている場合は、最初に取り外します。
  2. 微調整ボルト（位置1）を回転し、マークされた行を位置Aに揃えます。
  3. ハンドル（位置2）を緩めます、その後、微調整ボルト（位置3）を回して、位置Bのスケール値が0になるようにします。ハンドル（位置2）を締めクロスバーを固定します。
  4. スライドプレートのポインターを位置Cのマークされた線に合わせます。次に、ボルト（位置4）を回転して、スライドプレートを固定します。

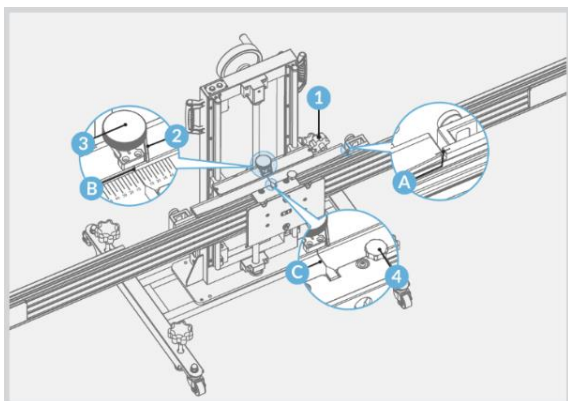


図 32-2 リフレクターの取り付け

5. 前輪がまっすぐ前方を向いていることを確認してください。
6. キャリブレーションフレームCSC0600を車両のフロントセンターの直前に配置します。クロスバーの高さを調整して、前輪の中心とほぼ同じ高さになるようにします。次に、レーザー（位置1）をオンにし車両の前部中央に向けます。

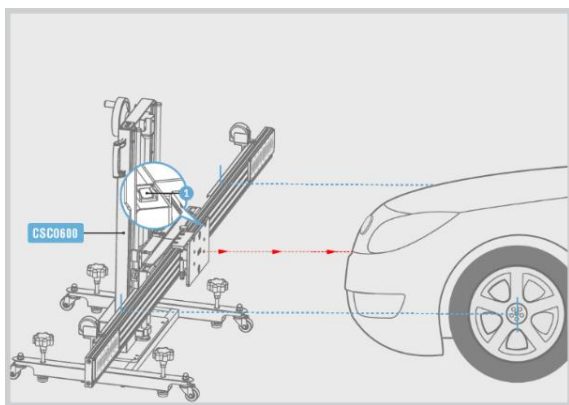


図 32-3 マークされた行の整列

➤ キャリブレーションフレームを車両の前方にセンタリングします

1. キャリブレーションフレームのハンドルを持ち、両方の前輪の中心とクロスバーの背面の間の（水平）距離が  $A = 150\text{cm} + \pm 2.5\text{cm}$  になるまでフレームを移動します（値はAudi / Audi A7 2011以降に適用されます） / Sportback）レーザーは車両の前方中央に残ります。次に、レーザー（位置1）をオフにします。
2. ベースのすべてのボルトを地面にわずかに触れるまで回します。

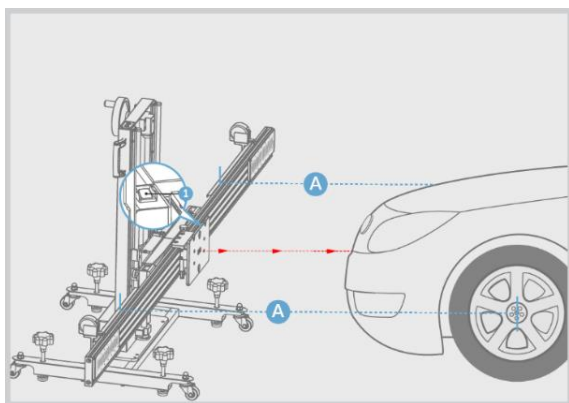


図 32-4 ホイールクランプとレーザーの取り付け

ⓘ 注意

距離の調整中にクロスバーを動かさないでください。

3. ホイールクランプCSC0500 / 01を確認し、4つの爪（位置2）長さが等しいことを確認します。
4. 2つのホイールクランプをそれぞれ後輪に取り付け、ボルト（位置1）を時計回りで回して、爪（位置2）がしっかりと固定されるようにします。
5. レーザーの接続シャフト（位置4）を完全にクランプポート（位置5）レーザーキャリブレーションボードが車両の進行方向を向いていることを確認します。ボルト（位置3）を締めて、レーザーを固定します。

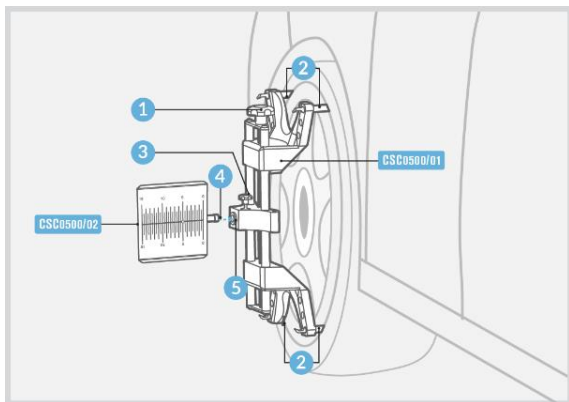


図 32-5 キャリブレーションフレームの中央揃え

➤ リフレクターを車両に平行に調整します

1. 後輪に取り付けられているレーザーCSC0500 / 02をオンにし、クロスバーカバープレートの両側のルーラーにレーザーを向けるように調整します。

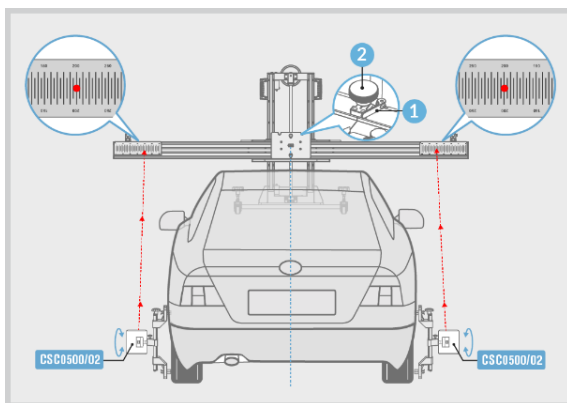


図 32-6 座標ボード1のレーザーの位置合わせ

2. ハンドル(位置1)を緩め微調整ボルト(位置2)を両側のルーラーがレーザーで同じ値になるまで回します。次に、ハンドル(位置1)とクロスバーを固定します。
3. クロスバーの両端のカバープレートを開きます。
4. 後輪に取り付けられたレーザーCSC0500 / 02を調整して、レーザーがクロスバーリフレクターのどこにでも照射できるようにします。
5. 後輪に取り付けられているレーザーを調整して、反射レーザーの上下運動を制御します。最後に、反射レーザー(少なくとも片側)は、レーザー座標ボードのスケールボードに配置する必要があります。
6. 微調整ボルト(位置1)を回転し、反射レーザーの左右の動きを制御します。
7. 上記の調整に続いて、両側の反射レーザーで照らされるスケール値は同じでなければなりません。

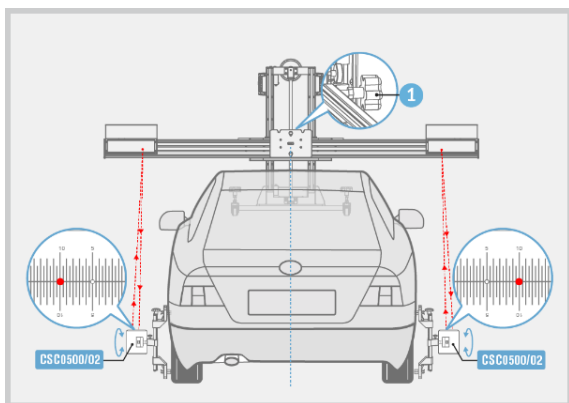


図 32-7 レーザーを座標系-2に合わせる

8. クロスバーの両端でカバープレートを折りたたみます。
  9. キャリブレーションフレームが正しく配置されました。両方の後輪のホイールクランプに取り付けられているレーザーをオフにし、ホイールクランプを取り外します。
  10. 終了をタップしてキャリブレーション準備画面に戻り、OKをタップしてキャリブレーション機能を開始します。
  11. キャリブレーションフレームが適切に配置されているかどうかを確認します。適切に配置されている場合は、OKをタップして、キャリブレーション機能を続行します。
  12. キャリブレーションフレームが適切に配置されるまで、キャリブレーション機能を実行しないでください。キャンセルをタップして、キャリブレーション準備画面に戻り、キャリブレーションフレームの配置手順を示します。
- ミラーを車両に平行にします
1. パターンボードCSC0601 / 01をキャリブレーションフレームのクロスバーに取り付け、ボルト（位置1）を締めて保護します。



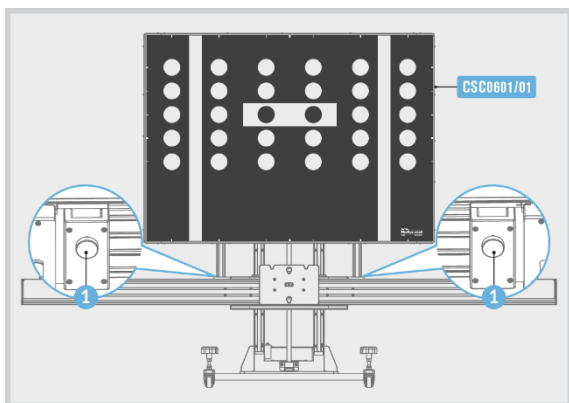


図 3-28 パターンボードの取り付け

2. すべてのボルト（位置1）を回転して、キャリブレーションフレームのベースで、水準器（位置2）を参照します。

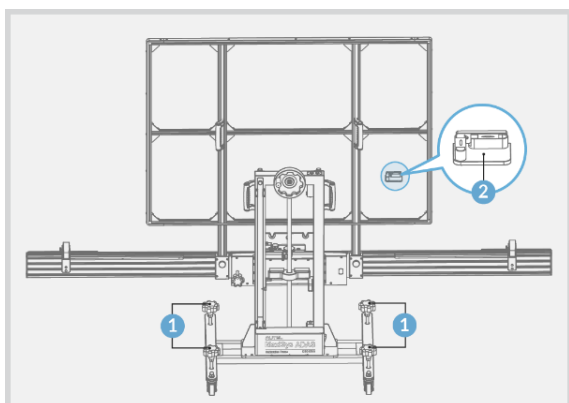


図 3-29 水準器の参照

3. ルーラー（位置1）上部のボルトを緩めます。ルーラーが地面に触れるようにします。
4. クロスバー（位置2）の高さを調整して、ポインター（位置3）をルーラーのB側の1090mm（値はAudi / Audi A7 2011以降およびSportbackに適用）に設定します。

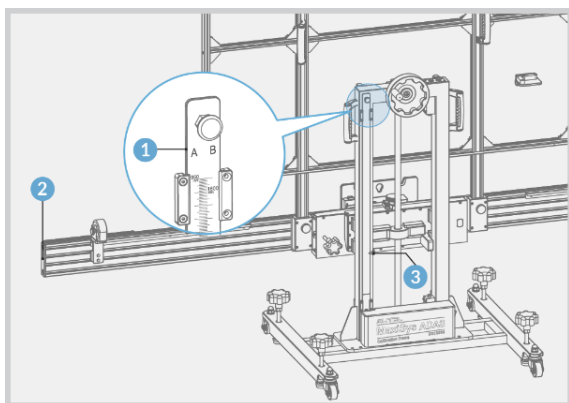


図 3-30 ルーラーのプッシュと固定

5. ルーラー（位置1）を押して、元の位置に戻して固定します。
6. キャリブレーションが成功するまで、タブレットの指示に従って次の手順を続けてください。

# アラウンドビューモニタリング (AVM) システム

---

これは VW 車の指示例です。

キャリブレーション手順は車両ごとに異なります。タブレットの指示に従ってください。

## キャリブレーションが必要な状況を選択してください

- パノラマカメラの交換
- パノラマカメラシステムコントロールユニットの交換
- パノラマカメラシステムコントロールユニットソフトウェアの更新
- パノラマカメラシステムコントロールユニットに新しいデータを入力した場合
- パノラマカメラが装備されているか、カメラの設置に影響するコンポーネントを修復する場合
- シャーシの調整
- パノラマカメラで撮影された画像の重複領域を移動する場合
- 車体の高さの調節
- 車体上のパノラマカメラの位置を調節する場合

## 必要なキャリブレーションツール

- パターンCSC1004 / 01
- 巻尺

## キャリブレーションの準備

- 前輪が真っ直ぐになるように車両を平らで水平な面に駐車し、車両の周囲にスペースがあることを確認します。
- 車両の両側の外部リアビューミラーを伸ばします。
- カメラのレンズが汚れていないことを確認してください。必要に応じて、レンズを湿らせた布で拭きます。
- 中央コンソールディスプレイでそれぞれのカメラの画像を確認します。カメラの損傷により画像に影響を受ける場合は、カメラを交換します。
- 車両のクーラントとエンジンオイルが推奨レベルにあり、ガスタンク

が満タンであることを確認してください。車両は荷物（乗客または貨物）を積んではなりません。

- VCI を車両に取り付け、診断ツールを車両に接続します（OBD II ケーブルで接続する場合は、ケーブルを窓に通してください）。
- パーキングブレーキをかけ、すべてのドアとトランクを閉じます。
- タイヤの空気圧を推奨値に調整します。
- バッテリー充電器を接続し、充電器がカメラの表示から外れていることを確認します。
- イグニッションをオンにします。
- パノラマ画像ボタンを押して、中央コンソールディスプレイにパノラマ画像を表示します。
- 認識エラーを回避するには、キャリブレーション領域の周囲に物体がないことを確認してください。
- キャリブレーション領域が十分に明るいことを確認します。

## キャリブレーションツールセットの配置

1. 2つのパターン CSC1004 / 01 を車両の両側に配置し、距離が  $A = 2000\text{--}2500\text{mm}$  であることを確認します（値は Audi / Audi A4 USA / 2016 以降および Saloon に適用されます）
2. 矢印（位置 1）が車両の運転方向を指し、クロスライン（位置 2）が前輪の中心を揃えていることを確認します。車両の両側のパターンは平行でなければなりません。
3. 車両が2つのパターンの間に駐車され、距離  $b$  と  $c$  が同じであることを確認します。

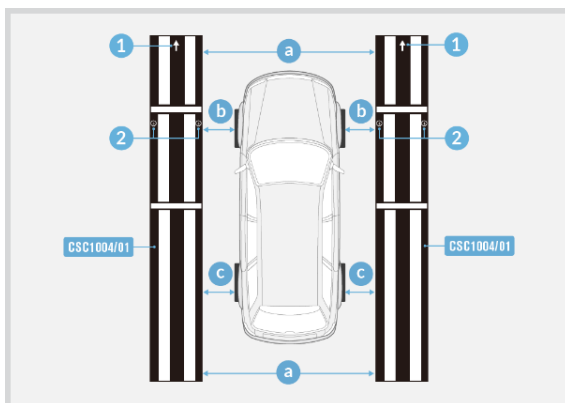


図 3-31 キャリブレーションツールセットの配置

---

**注意**

パターン CSC1004 / 01 が正しく配置され、その表面が平らで、光を反射しないことを確認してください。

---

## ナイトビジョンシステム (NVS)

---

これは VW 車の指示例です。

キャリブレーション手順は車両ごとに異なります。タブレットの指示に従ってください。

### キャリブレーションが必要な状況を選択してください

- ナイトビジョンシステム (NVS) カメラの修理または交換
- バンパーまたはラジエーターグリルの修理または交換
- シャーシの調整
- 車体の高さの調節
- 車体上の NVS カメラの位置を変更する場合

### 必要なキャリブレーションツール

- キャリブレーションフレーム CSC0600
- NVキャリブレター CSC0603 / 01
- ホイールクランプ (x2) CSC0500 / 01
- レーザー (x2) CSC0500 / 02
- 12V電源アダプター
- 巻尺

### キャリブレーションの準備

- 前輪を真っ直ぐに向けて、平らな場所に車両を駐車します。
- 車両のクーラントとエンジンオイルが推奨レベルにあり、ガスタンク

が満タンであることを確認してください。車両は荷物（乗客または貨物）を積んではなりません。

- VCI を車両に取り付け、診断ツールを車両に接続します（OBD II ケーブルで接続する場合は、ケーブルを窓に通してください）。
- 駐車ブレーキをかけ、すべてのドアを閉じ、すべての外部照明をオフにします。
- タイヤの空気圧を推奨値に調整します。
- 車両を冷たい状態に保ちます。
- バッテリー充電器を接続して、手順が中断することなく完了するようにし、バッテリーの放電を防ぎます。
- NVS カメラがホルダー内にあり、ビューが遮られていないかどうかを確認します。（NVS カメラは通常、グリルまたは車両のフロントエンブレムの近くにありますが）
- NVS カメラの保護ウィンドウが破損していないか確認してください。破損している場合、交換してください。

---

## 注意

---

- カメラの位置は車両によって異なる場合があります。
  - このキャリブレーション機能を実行するには、キャリブレーションフレームを要求どおりに配置する必要があります。
  - 「ヘルプ」をタップしてセットアップ手順を表示するか、「ビデオ」をタップしてデモを表示します。キャリブレーションフレームのセットアップと推奨ツールの収集が完了したら、「OK」をタップしてキャリブレーションを開始します。
  - 補助ツールの配置を完了するには、Autelキャリブレーションツールのユーザーマニュアルを参照してください。
- 

## キャリブレーションツールセットの配置

- リフレクターを取り付けてキャリブレーションフレームを配置します
  1. キャリブレーションフレームを車両の前の平らな地面に移動します。パターンボードがクロスバーに取り付けられている場合は、最初に取り外します。
  2. 微調整ボルト（位置 1）を回転し、マークされた行を位置 A に揃えます。
  3. ハンドル（位置 2）を緩め、その後、微調整ボルト（位置 3）を回して、

位置 B のスケール値が 0 になるようにします。ハンドル（位置 2）を締め、クロスバーを固定します。

4. スライドプレートのポインターを位置 C のマークされた線に合わせます。次に、ボルト（位置 4）を回転して、スライドプレートを固定します。

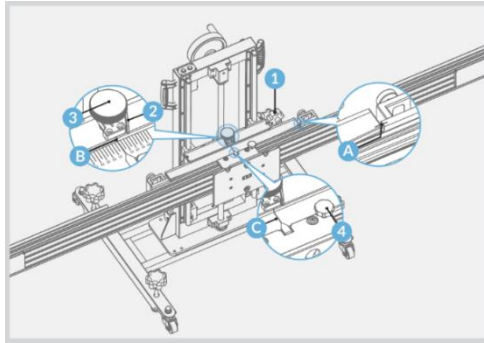


図 33-2 マークされた線の位置合わせ

➤ レーザーを車両の前面にセンタリングします

1. 前輪がまっすぐ前方を向いていることを確認してください。
2. キャリブレーションフレーム CSC0600 を車両のフロントセンターの直前に配置します。クロスバーの高さを調整して、前輪の中心とほぼ同じ高さになるようにします。次に、レーザー（位置 1）をオンにし、車両の前部中央に向けます。

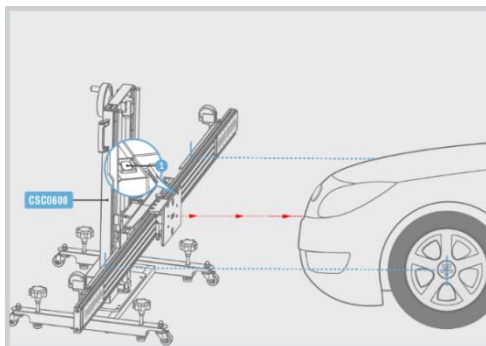


図 33-3 キャリブレーションフレームの移動

➤ フレームと車両の距離を測定します

1. キャリブレーションフレームのハンドルを保持し、車両のエンブレムとクロスバーのスライドプレート間の（水平）距離が  $A = 124\text{cm} \pm 2.3\text{cm}$  になるまでフレームを移動します（値は Audi / Audi A7 2011 以降 / Sportback に適用されます）レーザーは車両の前部中央に残ります。次に、レーザー（位置 1）をオフにします。
2. ベースのすべてのボルトを地面にわずかに触れるまで回します。

⊗注意

距離の調整中にクロスバーを動かさないでください。

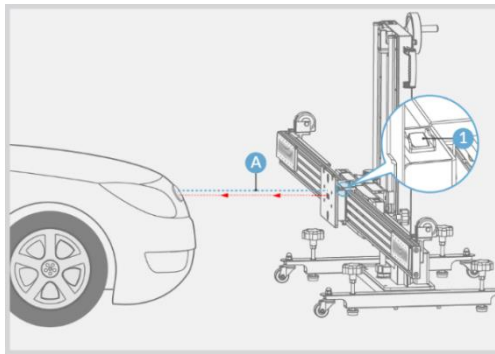


図 33-4 キャリブレーションフレームの中央揃え

➤ ホイールクランプの取り付け

1. ホイールクランプ CSC0500 / 01 を確認し、4つの爪の（位置 2）長さが等しいことを確認します。
2. 2つのホイールクランプをそれぞれ後輪に取り付け、ボルト（位置 1）を時計回りで回して、爪（位置 2）がしっかりと固定されるようにします。
3. レーザーの接続シャフト（位置 4）を完全にクランプポート（位置 5）レーザーキャリブレーションボードが車両の進行方向を向いていることを確認します。ボルト（位置 3）を締めて、レーザーを固定します。



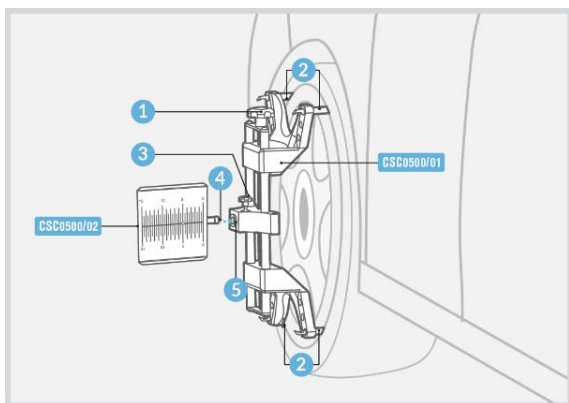


図 33-5 ホイールクランプとレーザーの取り付け

➤ クロスバーカバープレートにレーザーを向けます

1. 後輪に取り付けられているレーザーCSC0500 / 02 をオンにし、クロスバーカバープレートの両側の定規にレーザーを向けるように調整します。
2. ハンドル(位置 1) を緩め、微調整ボルト (位置 2) を両側のルーラーがレーザーで同じ値になるまで回します。次に、ハンドル (位置 1) 、クロスバーを固定します。

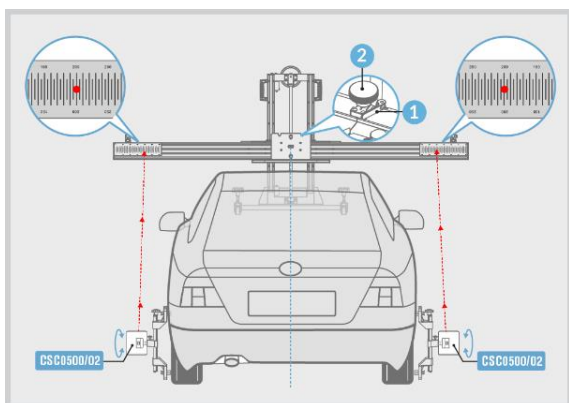


図 33-6 クロスバーカバープレートにレーザーを向けます

3. クロスバーの両端のカバープレートを開きます。

4. 後輪に取り付けられたレーザーCSC0500 / 02 を調整して、レーザーがクロスバーリフレクターのどこにでも照射できるようにします。
5. 後輪に取り付けられているレーザーを調整して、反射レーザーの上下運動を制御します。最後に、反射レーザー（少なくとも片側）は、レーザー座標ボードのスケールボードに配置する必要があります。
6. 微調整ボルト（位置 1）を回転し、反射レーザーの左右の動きを制御します。
7. 上記の調整に続いて、両側の反射レーザーで照らされるスケール値は同じでなければなりません。
8. クロスバーの両端でカバープレートを折りたたみます。

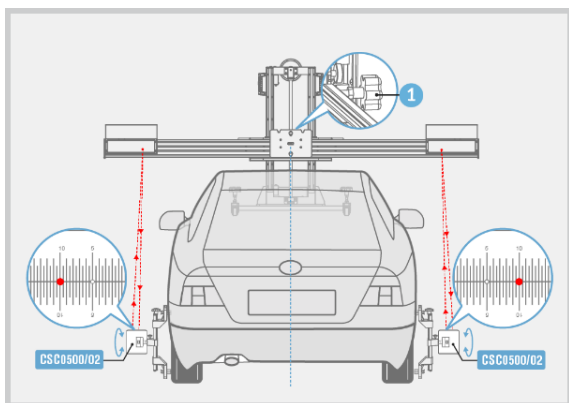


図 3-37 レーザーをクロスバーカバープレートに照準します

9. キャリブレーションフレームが正しく配置されました。両方の後輪のホイールクランプに取り付けられているレーザーをオフにし、ホイールクランプを取り外します。
10. 終了をタップしてキャリブレーション準備画面に戻り、OK をタップしてキャリブレーション機能を開始します。
11. キャリブレーションフレームが適切に配置されているかどうかを確認します。適切に配置されている場合は、OK をタップして、キャリブレーション機能を続行します。
12. キャリブレーションフレームが適切に配置されるまで、キャリブレーション機能を実行しないでください。キャンセルをタップして、キャリブレーション準備画面に戻り、キャリブレーションフレームの配置

手順を示します。

### ➤ NV キャリブレーターインストール

1. NV キャリブレーター CSC0603 / 01 をクロスバースライドプレートに取り付けます。
2. 付属の電源コードのポート（位置 1）へ接続します。電源スイッチ（位置 2）をオンにすると、赤色 LED（位置 3）が点灯します。

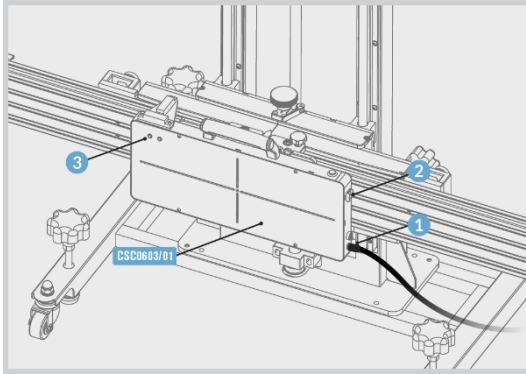


図 3-38 ライトをオンにします

3. すべてのボルト（位置 1）を回転して、キャリブレーションフレームのベースで、水準器（位置 2）を参照します。
4. レーザー（位置 1）をオンにします。
5. クロスバーの高さを調整し、NV キャリブレーター—CSC0603 / 01 を左右にスライドさせて、レーザービーム（位置 2）を NVS カメラの中央に向けるようにします。

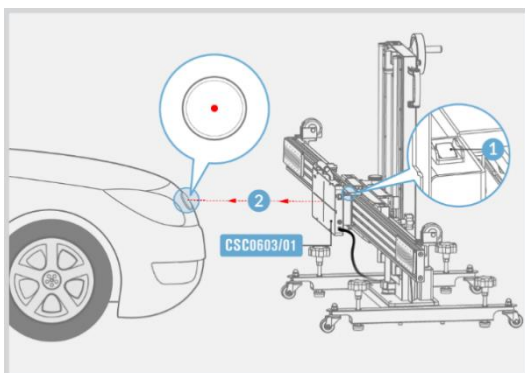


図 3-39 クロスバーの高さの調整とレーザーの照準

6. NV キャリブレーターCSC0603/01 をバーの中心にスライドさせ、ポインタ（位置 1）をマーカライン（位置 2）に合わせます。次に、レーザー（位置 3）をオフにします。
7. キャリブレーションが成功するまで次の手順を続けます

# 4 メンテナンスとサービス

## メンテナンス

---

- キャリブレーションツールは常に清潔に保ってください。
- 研磨剤、腐食性洗剤、洗剤は使用しないでください。
- キャリブレーションツールを水または他の液体に浸さないでください。
- ツールを乾燥した状態に保ち、通常の動作温度内に保ちます。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、汚れた場所に工具を保管しないでください。
- 認可されたバッテリー充電器とアクセサリのみを使用してください。許可されていないバッテリー充電器とアクセサリの使用によって引き起こされた誤動作または損傷は、限定製品保証を無効にします。
- バッテリー充電器が導電性物体に接触しないようにしてください。
- 製造およびテスト手順に注意を払ってもキャリブレーションツールが故障した場合は、Autel ツールの正規のアフターサービスセンターで修理を行う必要があります。



1. 内蔵のリチウムイオンポリマーバッテリーは、工場でのみ交換可能です。バッテリーパックを誤って交換したり、改ざんしたりすると、爆発の原因になることがあります。
2. 損傷した充電器を使用しないでください。

## サービス手順

---

このセクションでは、技術サポート、修理サービス、および交換部品またはオプション部品の申請に関する情報を紹介します。

### 技術サポート

製品の操作に関して質問または問題がある場合は、弊社（以下の連絡先情報を参照）または最寄りの代理店にお問い合わせください。

#### AUTEL 中国本部

- 電話番号：0086-755-8614 7779

- ウェブサイト：[www.autel.com](http://www.autel.com)
- メール：[support@autel.com](mailto:support@autel.com)
- 住所：中国深セン市南山区西麗街道学苑大道 1001 号南山智園 B1 棟 6-10 階  
〒518055

#### AUTEL 北アメリカ

- 電話：855-AUTEL-US (855-288-3587) 月曜日から金曜日までの午前 9 時から午後 6 時 (EST)
- ウェブサイト：[www.autel.com](http://www.autel.com)
- メール：[ussupport@autel.com](mailto:ussupport@autel.com)
- 住所：Suite 200, 175 Central Avenue, Farmingdale, New York, USA. 11735

#### AUTEL ヨーロッパ EUROPE

- 電話番号：0049 (0) 61032000522
- ウェブサイト：[www.autel.eu](http://www.autel.eu)
- メール：[sales.eu@autel.com](mailto:sales.eu@autel.com) / [support.eu@autel.com](mailto:support.eu@autel.com)
- 住所：Robert-Bosch-Strasse 25、63225、Langen、Germany

#### AUTEL 南アメリカ

- 電話番号：(+507) 308-7566
- ウェブサイト：[www.autel.com/es](http://www.autel.com/es)
- メール：[sales.latin@autel.com](mailto:sales.latin@autel.com) / [latsupport@autel.com](mailto:latsupport@autel.com)
- 住所：Office 103, Building 3845, International Business Park, Veracruz, Panamá Pacífico, Panamá

#### AUTEL オーストラリア

- 電話番号：03 9480 2978 / +61 476293327
- ウェブサイト：[www.autel.com.au](http://www.autel.com.au)
- メール：[sales@autel.com.au](mailto:sales@autel.com.au)
- 住所：155 Islington Street, Melbourne, Collingwood, VIC

### 修理サービス

修理のためにデバイスを返却する必要がある場合は、[www.autel.com](http://www.autel.com) から修理サービスフォームをダウンロードし、記入してください。次の情報を含める必要があります。

- 連絡先
- 返品住所

- 電話番号
- 商品名
- 問題の完全な説明
- 保証修理のための購入証明
- 非保証修理の支払いの好ましい方法

---

### ⑦注意

非保証修理の場合、支払いは Visa、マスターカード、または承認されたクレジット条件で行うことができます。

---

**デバイスをローカルエージェントまたは以下のアドレスに送信します。**

中国深セン市南山区西麗街道学苑大道智園 B1 棟 8 階  
〒518055

### 他のサービス

オプションのアクセサリは、Autel の認定ツールサプライヤー、および/または最寄りの販売代理店または代理店から直接購入できます。

注文書には次の情報が含まれている必要があります。

- 連絡先
- 製品名または部品名
- アイテム説明
- 購入数量

# 5 コンプライアンス情報

## FCC コンプライアンス

このデバイスは、FCCルールのパート15とカナダ産業省の免許RSSに準拠しています。操作は、次の2つの条件に従います。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉を受け入れる必要があります。

このデバイスは、カナダ工業省ライセンス CNR に準拠しています。その動作は、次の2つの条件に従います。

1. このデバイスは干渉を引き起こしません。等
2. このデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

---

### 警告

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

---

### ご注意

この装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉から適切に保護するように設計されています。

---

この装置は、無線周波数エネルギーを放射します。指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオン/オフすることで確認できます）、ユーザーは以下の1つ以上の手段で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 機器と受信機の間隔を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。



## **RoHS準拠**

このデバイスは、欧州RoHS指令2011/65 / EUに準拠していると宣言されています。

## **CEコンプライアンス**

この製品は、次の指令の必須要件に準拠することが宣言されており、それに応じてCEマークが付けられています。

EMC 指令 2014/30 / EU

R&TTE 指令 1999/5 / EC

低電圧指令 2014/35 / EU

# 6 保証

## 1 年間の限定保証

---

Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.（当社）は、この MaxiSys ADAS の最初の小売購入者に対して、通常の使用および条件で、この製品またはその一部が、製品または製品につながる仕上がり欠陥があった場合、保証致します。購入日から 1 年以内に不具合が発生した場合、その欠陥は、当社の選択により、修理または購入証明と交換（新しい部品または再構築部品で）されます。

当社は、デバイスの使用、誤用、または取り付けに起因する偶発的または間接的な損害について責任を負いません。一部の地域では、保証期間の制限を許可していないため、上記の制限が適用されない場合があります。

### この保証は以下には適用されません。

- a) 異常な使用または状態、事故、誤操作、放置、無許可の変更、誤用、不適切な設置または修理または不適切な保管を受けた製品。
- b) 機械的シリアル番号または電子シリアル番号が削除、変更、または破損された製品。
- c) 過度の温度または極端な環境条件への暴露による損傷。
- d) 当社が承認していないまたは承認されていないアクセサリまたはその他の製品への接続、または使用から生じる損傷。
- e) 外観、装飾品、または構造部品（フレーム部品や非動作部品など）の欠陥。
- f) 火災、汚れ、砂、バッテリーの漏出、切れたヒューズ、盗難、または電源の不適切な使用などの外部原因により損傷した製品。

---

### ❗ 重要

---

---

製品のすべての内容は、修理の過程で削除される場合があります。保証サービスのために製品を提供する前に、製品の内容のバックアップコピーを作成する必要があります。

---